

STEP 1

NEC

はじめにお読みください

ISDNターミナルアダプタ

Aterm® IT75/D (PC-IT75D1A)

Aterm® IT75 (PC-IT75S1A)

Aterm® IT60/D (PC-IT60D1A)

Aterm® IT60/D[S] (PC-IT60D1A [S])

1. ご使用の前に
2. 接続とその確認をする
3. Atermを使えるようにする



マニュアルの 主な内容

Aterm には、次のマニュアルが用意されています



Step1 「はじめにお読みください」

Aterm を使用するために必要な手続き、接続のしかた、基本的な設定、インターネットへの接続までを説明しています。最初にパソコンの OS や電話機別に必要な手続きや設定を図表にして記載しています。初めて Aterm を使用するときには、必ずお読みください。



Step2 「活用マニュアル」

Aterm の全ての機能とその操作方法および設定方法について説明しています。「はじめにお読みください」の後にお読みいただき、あなたの通信環境に合わせた設定をおこなってください。



「お困りのときには」

Aterm を使用中に何かトラブルが起きたときの症状と対策を Q&A 方式で説明しています。その他、問い合わせ先やサービスステーション、Aterm のホームページの URL も記載しています。「らくらくウィザード」を使ってうまく設定できなかったときの手動によるインターネットの接続の方法や Windows NT 4.0 でのインターネットへの接続方法等も記載しています。



「USB ネットワーク設定マニュアル」

(Aterm IT75/D, Aterm IT75 のみ)

Aterm の 2 つの USB ポートにそれぞれパソコンを接続して 2 台のパソコン間でデータ通信などをおこなうときの説明をしています。「はじめにお読みください」や「活用マニュアル」を参照して Aterm の設定をした後で、ご覧ください。

「USB で iMac/Power Macintosh G3 をご利用の場合に」

Aterm を Macintosh の USB で使用するときにお読みください。

はじめに

このたびは、AtermIT75/D, AtermIT75, AtermIT60/D, AtermIT60/D[S]をお買い上げいただきありがとうございます。

AtermIT75/D, AtermIT75, AtermIT60/D, AtermIT60/D[S]は、ISDN網「INSネット64」にパソコンや電話機、ファクス、モデム等を接続するためのターミナルアダプタです。

本書では、AtermIT75/D, AtermIT75, AtermIT60/D, AtermIT60/D[S]各機種種の共通の記述に関しては、「Aterm」と表現しています。

本書では、Atermをご購入いただいてからご使用いただくための手続き、設置・接続、基本設定、インターネットへの接続までを説明しています。

本書をひととおりお読みになれば電話機とファクスの電話番号での呼び分けからインターネットアクセスまでができるようになります。

本装置をご使用の前に、本書を必ずお読みください。また、本書は読んだあとも大切に保管してください。

本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本装置を安全に正しくお使いいただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。

安全に正しくお使いいただくための表示について

-  **危険** : 人が死亡するまたは重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
-  **警告** : 人が死亡するまたは重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
-  **注意** : 人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
-  **お願い** : 本装置の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

絵表示の例



⓪ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



Ⓛ 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

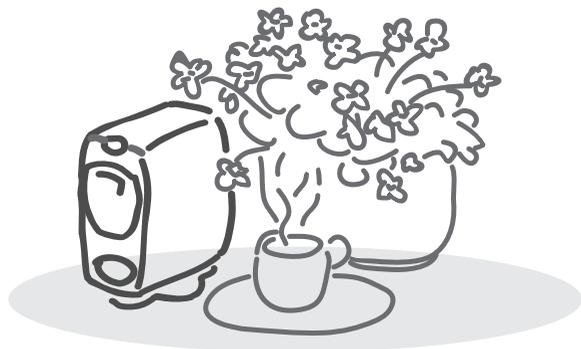
もくじ

はじめに	i
もくじ	ii
1 ご使用の前に	1-1
1-1. Aterm を使用できるようにするためには	1-2
1-1-1. Aterm の設定のしかた	1-3
電話機だけを使う場合	1-4
Windows98/Windows95 を使う場合	1-5
Macintosh を使う場合	1-6
1-2. Aterm をご使用になるための条件	1-7
1-2-1. INS ネット 64 と機器の準備	1-7
INS ネット 64 の契約はお済みですか？	1-7
ご購入の Aterm は DSU 内蔵タイプですか？	1-7
回線用のコンセントはモジュラタイプですか？	1-7
1-2-2. 電話番号でアナログポートを呼び分けたい場合の条件	1-8
① i・ナンバーを使って電話の呼び分けをする場合	1-8
② ダイヤルインサービスを使って電話の呼び分けをする場合	1-9
1-2-3. インターネットの接続をおこなう場合	1-11
プロバイダとの契約の手続きには次のものがあります。	1-11
ホームページや電子メールを見るときは	1-11
1-3. 添付品を確認する	1-12
1-4. 各部の名称とはたらき	1-14
1-5. Aterm を設置するときのご注意	1-19
2 接続とその確認をする	2-1
2-1. 接続のしかた	2-2
2-1-1. 全体接続図	2-2
電話機やパソコンを接続する (パソコンを USB ポートに接続する場合)	2-2
電話機やパソコンを接続する (パソコンをデータポートに接続する場合)	2-4
2-1-2. 電話機やファクス / モデムの接続	2-6

2-1-3. INS ネット 64 の接続	2-7
Aterm IT75/D、AtermIT60/D または AtermIT60/D[S] の場合	2-7
AtermIT75 (DSU なし機種) を 1 台接続する場合	2-7
AtermIT75 を 2 台以上接続する場合	2-8
2-1-4. パソコンの接続	2-9
USB ポートに接続する場合	2-9
データポートに接続する場合	2-10
2-1-5. アースと電源の接続	2-11
2-2. 電源を入れる	2-12
2-3. 電話が使えることを確認する	2-13
3 Aterm を使えるようにする (基本設定をする)	3-1
3-1. パソコンから設定する	3-2
3-1-1. Windows98/Windows95 ユーザの場合	3-2
らくらくウィザードを使う	3-2
「らくらくウィザード」をインストールする	3-2
らくらくウィザードで設定する	3-5
インターネット接続に関する設定	3-13
日付・時刻を設定する	3-18
インターネットへ接続する	3-20
プロバイダとの接続を確認する	3-20
接続を切断するとき	3-22
3-1-2. Macintosh ユーザの場合	3-23
らくらくユーティリティをインストールする	3-23
IT75/IT60 らくらくユーティリティの基本操作について	3-23
らくらくユーティリティで設定する	3-24
インターネット接続に関する設定	3-29
OT-PPP(Open Transport PPP)の設定をする	3-29
Performa シリーズをお使いの方に	3-30
TCP/IP の設定をする	3-30
モデムの設定をする	3-32
PPP の設定をする	3-33
インターネットへ接続する	3-36
プロバイダとの接続を確認する	3-36
接続を切断するとき	3-38

もくじ っづき

3-2.	電話機から設定する(らくらくテレホン設定)	3-39
(1)	日付・時刻を設定する	3-39
(2)	使用ポートと接続機器を設定する	3-40
(3)	発信者通知番号を設定する	3-41
①	i・ナンバー契約の場合	3-41
②	ダイヤルインサービス契約の場合	3-42
(4)	アナログポートを別々の電話番号で呼び分ける	3-44
①	i・ナンバー契約の場合	3-44
(1)	電話番号を登録する	3-44
(2)	呼び出す電話番号(i・ナンバー)を割り当てる	3-46
(3)	i・ナンバー着信選択を設定する	3-47
②	ダイヤルインサービス契約の場合	3-48
(1)	電話番号を登録する	3-48
(2)	呼び出す電話番号(ダイヤルイン番号)を割り当てる	3-50
(3)	グローバル着信選択を設定する	3-52
4	付録	4-1
4-1.	INS ネット 64 のお申し込み	4-2
4-2.	停電時に Aterm を使うために	4-5
5	索引	5-1



1 ご使用の前に

Aterm をご使用になる前に、
知っておいていただきたいことや
確認していただきたいことを説明しています。

1-1. Atermを使用できるようにするためには

本書「はじめにお読みください」は、Atermを使用するための基本的な手順について説明しています。

必ず、よくお読みのうえ正しく使用してください。

Atermを使用できるようにするためには、あらかじめ設定をする必要があります。ただし、次のような場合は設定をする必要がありません。

データポートやUSBポートにパソコンを接続せず、アナログポートのみを使用する場合で、Atermのアナログポート すべてに電話機を接続して、契約者回線番号で同時に呼び出して使用する場合

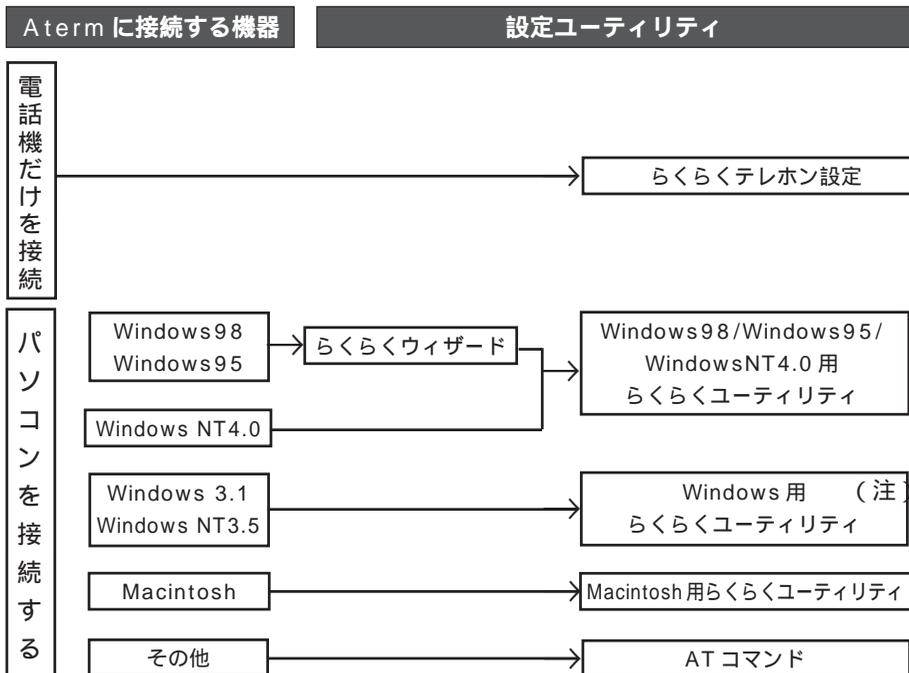
AtermIT75/D、AtermIT75では3ポート、AtermIT60、AtermIT60/D[S]では2ポート

上記以外の場合は、設定が必要です。

また、1-4ページ以降に、Atermの設定についてのフローチャートを記載していますので、ご使用の環境に応じてご覧ください。

1-1-1. Aterm の設定のしかた

Atermには、いくつもの設定ツールがあります。接続している機器によって設定ツールを選んでください。



注：本ユーティリティは、USBポートでは使用できません。

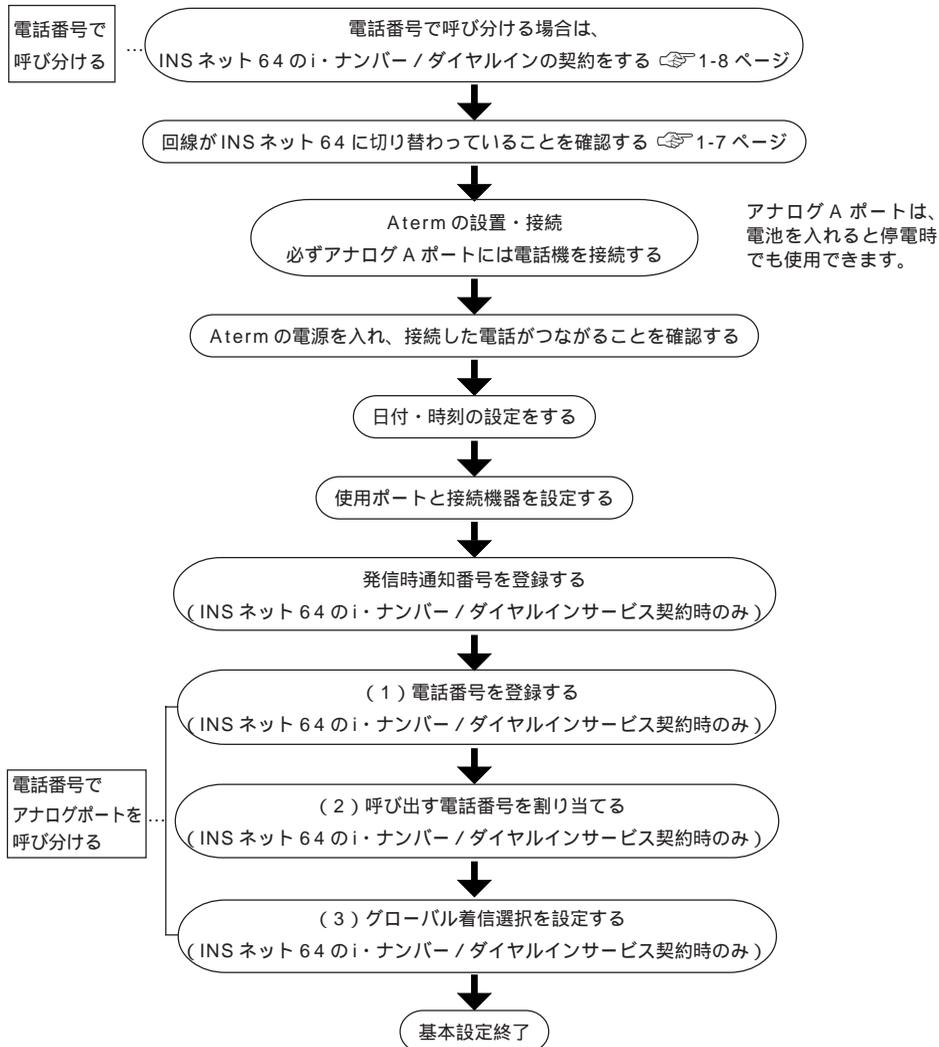
- らくらくテレホン設定では…… Atermの液晶ディスプレイを見ながら電話機からアナログポートに関する設定ができます。
- らくらくユーティリティでは… パソコンからアナログポートとデータポートに関する設定ができます。
- らくらくウィザードでは…… パソコンから基本的なアナログポートの呼び分けとパソコンのインターネット接続設定、USBドライバのインストールができます。

お客様のパソコン環境によっては、らくらくウィザード、らくらくユーティリティがご利用になれない場合があります。詳細については、『お困りのときには』👉1-9ページを参照してください。

電話機だけを使う場合

電話機を使って、日付・時刻の設定から電話番号でアナログポートを呼び分けるまでの設定をします。

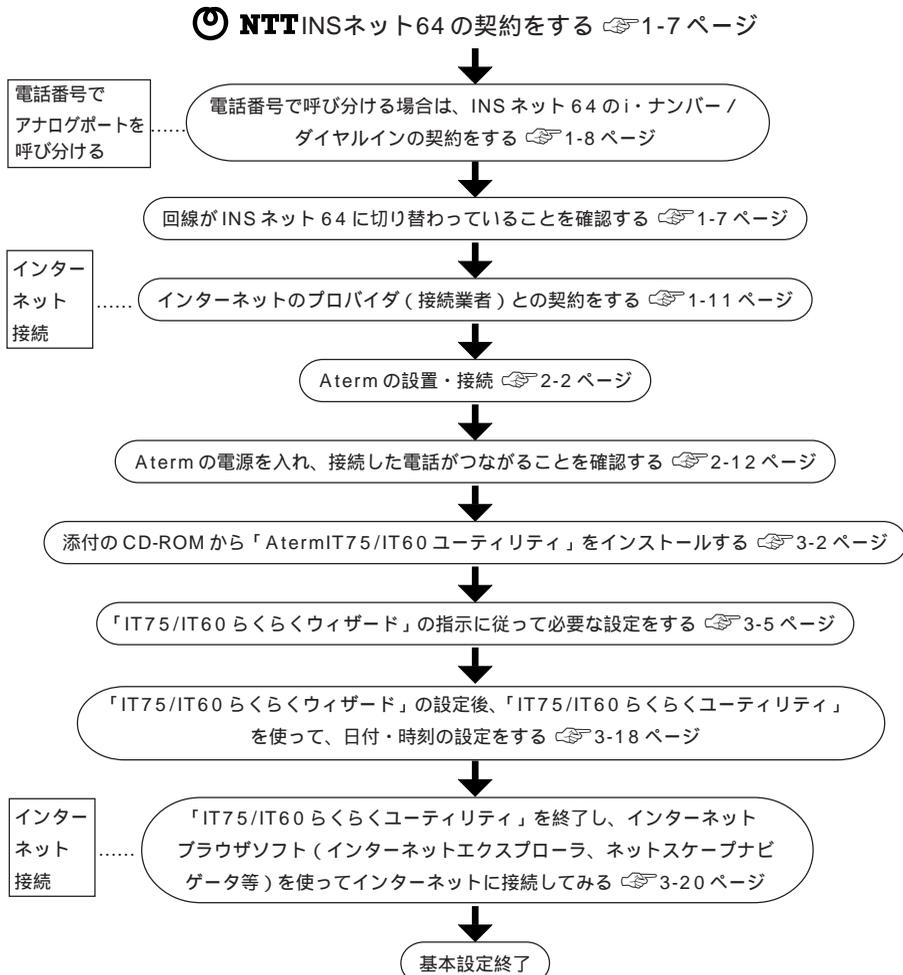
📞 NTT INS ネット64 の契約をする 📖 1-7 ページ



Windows 98/Windows 95 を使う場合

データポートまたはUSBポートを使って、インターネットに接続するための設定までをおこないます。

電話番号でのアナログポートの呼び分けも「IT75/IT60らくらくウィザード」の中で設定をすることができます。



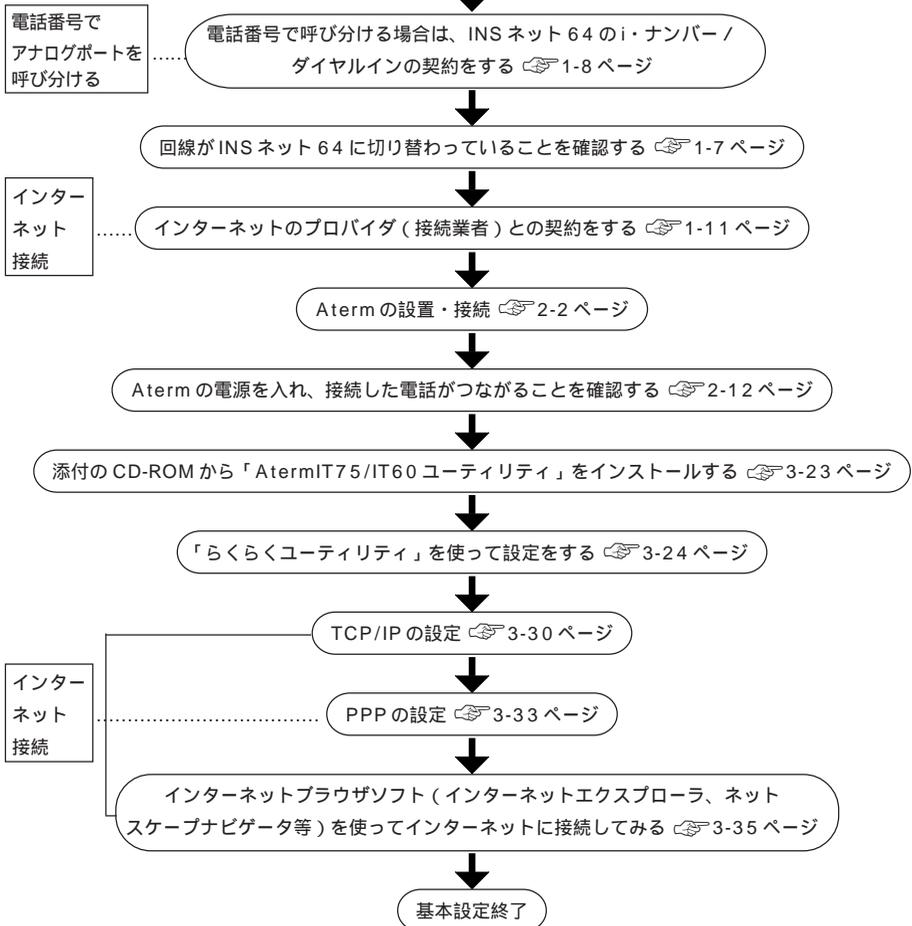
* インターネットプロバイダとの契約をしていない方でも、「らくらくウィザード」の設定の中で、NECのインターネットプロバイダ「BIGLOBE」とのオンライン・サインアップ (パソコン通信を使った契約) をすることができます。

Macintosh を使う場合

データポートまたはUSBポートを使って、インターネットに接続するための設定までをおこないます。

電話番号でアナログポートの呼び分けをする場合は、「AtermIT75/IT60ユーティリティ」で設定をすることができます。

📞 NTTINSネット64の契約をする 📖 1-7 ページ



1-2. Atermをご使用になるための条件

Aterm をご使用になるには次の条件がそろっていることが必要です。条件がそろっていないと Aterm を使用することができないのでご注意ください。

1-2-1. INS ネット 64 と機器の準備

INS ネット 64 の契約はお済みですか？

Aterm は、ISDN 網(デジタル回線)「INS ネット 64」接続用のターミナルアダプタ(TA)^(*)ですので、使用するときには必ず INS ネット 64 の契約が必要です。

契約がすんでいない場合は、「INS ネット 64 加入手続きについて」(☞4-2 ページ)を参照して申し込みをおこなってください。

また、申し込みをしても、回線が INS ネット 64 に切り替わるまでは、Aterm を使用することはできません。

INS ネット 64 に切り替わる日時をご確認ください。

ご購入の Aterm は DSU 内蔵タイプですか？

AtermIT75/D, AtermIT60/D, AtermIT60/D[S]は、DSU 内蔵機種です。INS ネット 64 回線が開通したあと、壁などにある電話回線用コンセントにそのまま接続して使用できます。

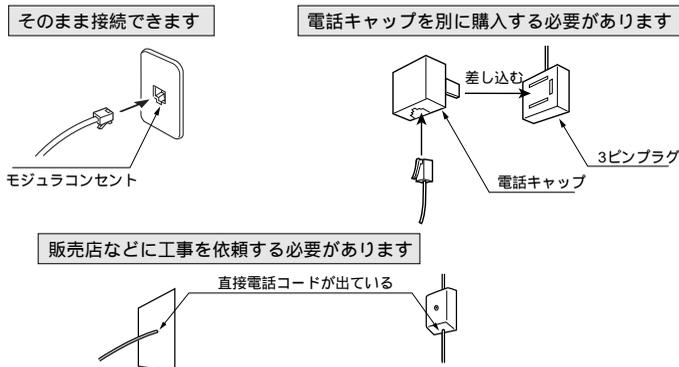
AtermIT75 は、DSU が内蔵されていません。あらかじめ DSU^{(*)2} を購入してください。場合によっては工事の依頼が必要になります。

(*)1 ターミナルアダプタ(TA)とは、電話機、ファクス、モデム等のアナログ機器を使用するときにはデジタル信号をアナログ信号に変換し、パソコンを使った通信をおこなう場合には、デジタル信号をパソコン用の信号に変換するための装置です。デジタル回線を使ってアナログ機器を使用するときやデジタル回線によるパソコン通信をおこなうときには、必要な装置です。

(*)2 DSU(デジタルサービスユニット・回線終端装置)は、デジタル回線用の交換機とターミナルアダプタ(TA)の間でデジタル信号を変換する装置です。ターミナルアダプタ(TA)を使用するときには必要になります。

回線用のコンセントはモジュラタイプですか？

回線用のコンセントの形状によっては、そのまま接続できない場合があります。形状をご確認ください。



1-2-2. 電話番号でアナログポートを呼び分けたい場合の条件

電話番号で、アナログポートを呼び分けるためには、①INS ネット 64 の i・ナンバーを契約する、②INS ネット 64 のダイヤルインサービスを契約する方法があります。条件が異なりますので、それぞれの説明をお読みください。

① i・ナンバーを使って電話の呼び分けをする場合

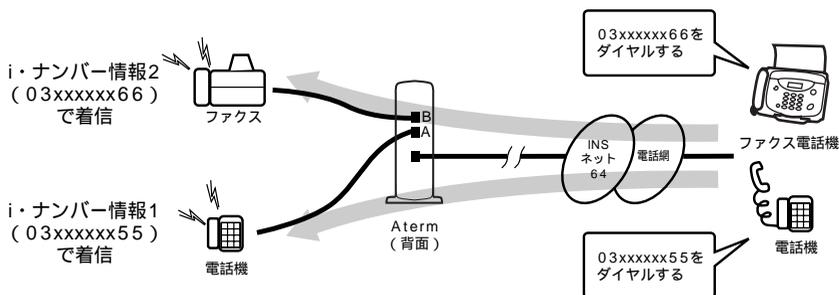
INS ネット 64 の i・ナンバーの契約が必要です（月々の利用料金がかかります）
INS ネット 64 の i・ナンバーは INS ネット 64 の契約時に申し込むことができます。
i・ナンバーの契約をすると、2つの電話番号を持つことができるので相手の方がかけてきたときに通知される i・ナンバー情報ごとに、着信するポートを特定することができます。

1つ目の電話番号（契約者回線番号）が、i・ナンバー情報 1、2つ目の電話番号（追加番号）が i・ナンバー情報 2 となります。

i・ナンバーで電話機とファクスを呼び分ける例

アナログポート	アナログポート接続機器	電話番号	着信するポート		
			A	B	C
A	電話機（工場出荷状態）	i・ナンバー情報 1 03xxxxxx55	✓		
B	FAX / モデム	i・ナンバー情報 2 03xxxxxx66		✓	
C	使用しない				

アナログポートを [使用しない] に設定した場合は、どの着信も受け付けません。



設定方法

Windows98/Windows95 (IT75/IT60 らくらくウィザードを使用) ➡ 3-9 ページ
Windows98/Windows95, Windows NT4.0 IT75/IT60 らくらくユーティリティを使用) ➡ 『活用マニュアル』 5-6 ページ

Macintosh ➡ 3-25 ページ

電話機 ➡ 3-44 ページ

② ダイヤルインサービスを使って電話の呼び分けをする場合

INSネット64のダイヤルインサービスの契約が必要です(月々の利用料金がかかります)

INSネット64のダイヤルインサービスの契約はINSネット64の契約時に申し込むことができます。ダイヤルインサービスの契約をすると契約者回線番号の他にダイヤルイン番号が割り当てられます。この契約者回線番号とダイヤルイン番号の数だけ電話を呼び分けることができます。

契約時には「グローバル着信」を「利用」の契約にします

「グローバル着信」を「利用」の契約にすると、契約者回線番号の着信には、ターミナルアダプタ(TA)に接続した機器を全て呼び出すようになりますが、Atermには「グローバル着信選択」という機能があるため、契約者回線番号の着信についても特定のポートを呼び出すことができます。

例えば、3つのアナログ機器の呼び分けをする場合は、契約者回線番号 + 2つのダイヤルイン番号で呼び分けをすることができます。

設定方法

Windows98/Windows95 (IT75/IT60らくらくウィザードを使用)  3-9ページ
Windows98/Windows95, Windows NT4.0 IT75/IT60らくらくユーティリティを使用)  『活用マニュアル』5-5ページ

Macintosh  3-26ページ

電話機  3-48ページ

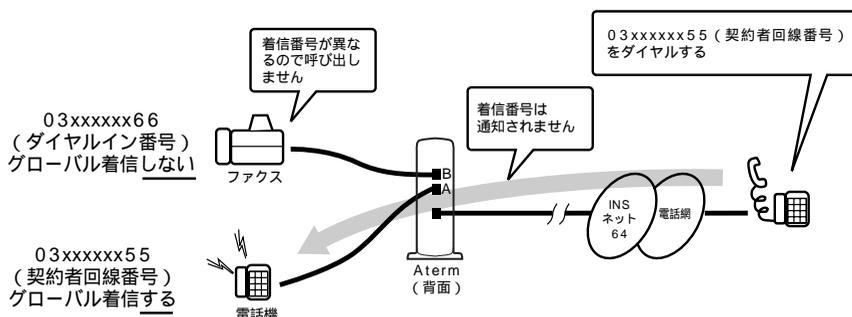
次ページに呼び分け例を示します。

ダイヤルインサービスを利用して電話機とファクスを呼び分ける例

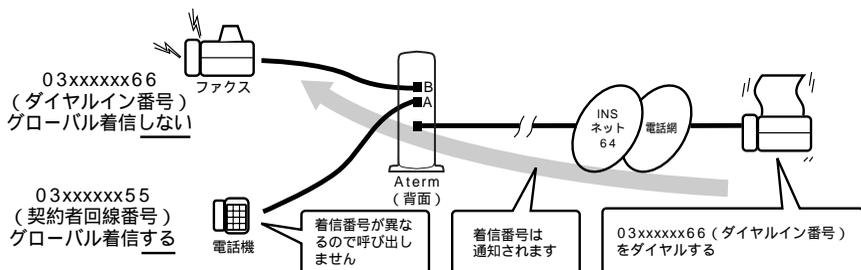
アナログポート	アナログポート接続機器	契約者回線のグローバル着信	利用する			
A	電話機 (工場出荷状態)	電話番号	着信するポート			
B	FAX / モデム		A	B	C	
C	使用しない					
		契約者回線番号	03xxxxxx55	✓		
		ダイヤルイン番号	03xxxxxx66		✓	

アナログポートを [使用しない] に設定した場合は、どの着信も受け付けません。

契約者回線番号への呼び出し： [グローバル着信を利用する] に設定することで、契約者回線番号の着信では番号の通知がなくても呼び出します。
ダイヤルイン番号の着信は、選択した番号と異なる番号が通知されるので、呼び出しません。



ダイヤルイン番号への呼び出し：番号の通知がない契約者回線番号の着信は呼び出しません。ダイヤルイン番号の着信は、番号が通知されるので、選択した番号と同じ場合に呼び出します。



1-2-3. インターネットの接続をおこなう場合

インターネットを利用するには、インターネットプロバイダ（接続業者）との契約が必要になります。

プロバイダと契約をすると、そのプロバイダのアクセスポイント（パソコンを接続するための電話番号）を通じてインターネットに接続することができます。

プロバイダとの契約の手続きには次のものがあります。

書面による申し込み

プロバイダから申込書を取り寄せて必要事項を記入してから郵送します。
ユーザー名、パスワード、メールアドレス等を入手するまで1～2週間かかります。

オンライン・サインアップ（通信による手続き）

プロバイダの入会専用ホームページに接続して、必要事項を入力します。
ユーザー名、パスワード、メールアドレス等を短時間で入手することができます。
また、接続するアクセスポイントまでの設定を自動的におこなってくれるものもあるので、面倒な設定をすることなくインターネットに接続することができます。

Windows98/Windows95をご利用の方は、Atermに添付の「IT75/IT60らくらくウィザード」を使って、NECのプロバイダサービスBIGLOBEへのオンラインサインアップができますので是非ご利用ください。

ホームページや電子メールを見るときは

インターネットに接続してホームページを見たり電子メールを送ったりするには、それぞれ専用のソフトが必要です。

ホームページを見るときは

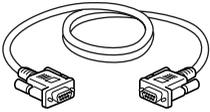
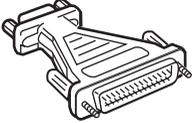
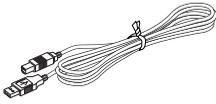
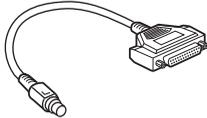
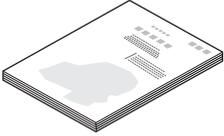
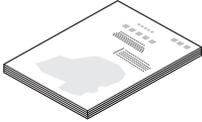
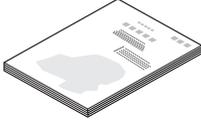
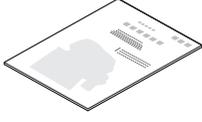
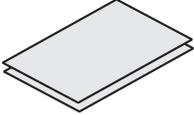
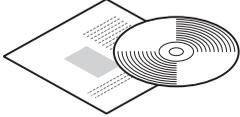
ブラウザソフト（インターネットエクスプローラやネットスケープナビゲータ等）が必要です。

電子メールを使うときは

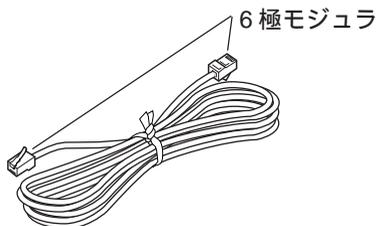
電子メールソフト（アウトLOOKエクスプレス等）が必要です。
最近のパソコンには、これらのソフトは添付されていますが、無い場合はあらかじめ用意してください。

1-3. 添付品を確認する

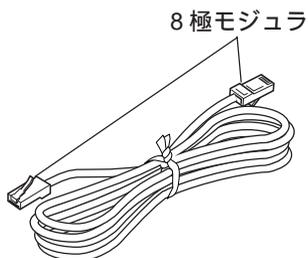
梱包箱を開いたら、まず次のものがそろっていることを確認してください。
もし、不足しているものがありましたら、お買い上げいただいた販売店にご連絡ください。

<p>本 体</p> 	<p>RS-232C ケーブル(9ピン)</p> 	<p>25ピン変換コネクタ</p> 	
<p>USB ケーブル (2m) 1 本</p> 	<p>Mac 変換ケーブル</p> 	<p>はじめにお読みください (本書)</p> 	
<p>活用マニュアル</p> 	<p>お困りのときには</p> 	<p>USB ネットワーク 設定マニュアル</p>  <p>(AtermIT75/D, AtermIT75 の場合)</p>	<p>USB で iMac/ Power Macintosh G3 をご利用の場合に</p> 
<p>ユーザ登録ガイド 保証書</p> 	<p>縦置きスタンド</p> 	<p>CD-ROM 「AtermIT60/75 シリーズユーティリティ集」</p>  <p>「AtermIT60/75 シリーズユーティリティ集」 はパソコンで設定するときに必要です。 ☞ 次ページ参照</p>	

AtermIT75/D, AtermIT60/D,
AtermIT60/D[S]の場合
INS 回線ケーブル (3m)



AtermIT75 の場合
S バスケーブル (3m)

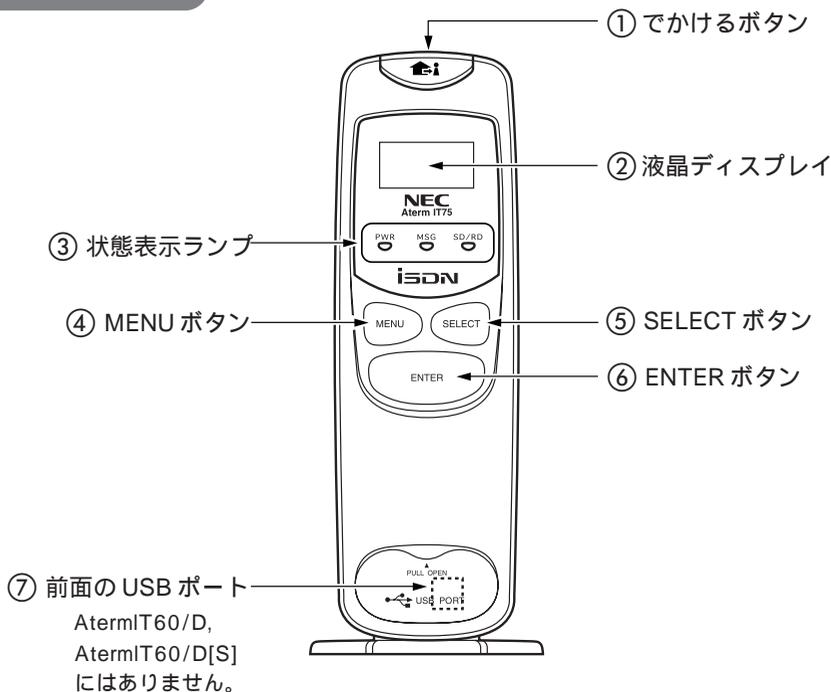


CD-ROM 在中ソフトウェア

- ・ IT75/IT60 らくらくウィザード (Windows 版)
- ・ IT75/IT60 らくらくユーティリティ (Windows 版、Macintosh 版)
- ・ IT75/IT60 らくらくバージョンアップ (Windows 版、Macintosh 版)
- ・ UUI メール EX (Windows98/Windows95、WindowsNT4.0)
- ・ 電子メール着信通知・UUI メールユーティリティ (Macintosh 版)
- ・ USB 関連ソフトウェア (Windows98/Windows95)
など

1-4. 各部の名称とはたらき

前面からみたところ



① でかけるボタン

お出かけ設定をするときに押します。ボタンが点灯します。お出かけ設定時に着信があると点滅します。もう一度ボタンを押すとお出かけ設定を解除し、ボタンを消灯します。

② 液晶ディスプレイ

液晶ディスプレイには、回線や通信機器の使用状況、設定時の内容、日時の表示などを絵文字（ピクトグラム）やメッセージで表示します。

③ 状態表示ランプ

SD/RD ランプ

SD/RD(Send Data/Receive Data)ランプ

- パソコンから Aterm にデータが送られているときに、緑色に点滅します。

- Aterm からパソコンにデータが送られているときに、赤色に点滅します。
- USBポートでデータ通信をおこなっているときは、点灯 / 点滅はしません。

MSG(MESSAGE)ランプ

- 電子メール着信通知、UUIメールが入っているときに、オレンジ色に点滅します。

PWR(POWER)ランプ

- 電源が入っているときに、緑色に点灯します。
- 電池で動作しているときは、緑色に速く点滅します（1秒間に2回）。電池の残量が少なくなると、点滅が遅くなります（1秒間に1回）。

- ④ MENU ボタン
各種の設定をするときに押します。
設定中にMENUボタンを押すとキャンセル(解除)の働きをします。
- ⑤ SELECT ボタン
設定をするときの設定項目を変えるときに押します。ボタンを押すたびに設定項目が変わります。
- ⑥ ENTER ボタン
設定項目を決めるときに押します。
128kbps マルチリンク PPP 通信中にENTERボタンを押すと、通信速度を変えること(64kbps ↔128kbps)もできます。
- ⑦ 前面の USB ポート
パソコンのUSBポートに接続するコネクタです(AtermIT60/D, AtermIT60/D[S]にはありません)。

絵文字(ピクトグラム)について



フレックスホンの着信転送や疑似着信転送が設定してあるときに表示されます。



アナログ(A,B,C)ポートに接続している通信機器が受話器をあげているときに表示されます。(AtermIT60/D, AtermIT60/D[S]はA,Bのみ)



データ通信中に表示されます。

( : 1つのBチャンネルで通信中(64kbps)
 : 2つのBチャンネルで通信中(128kbps))

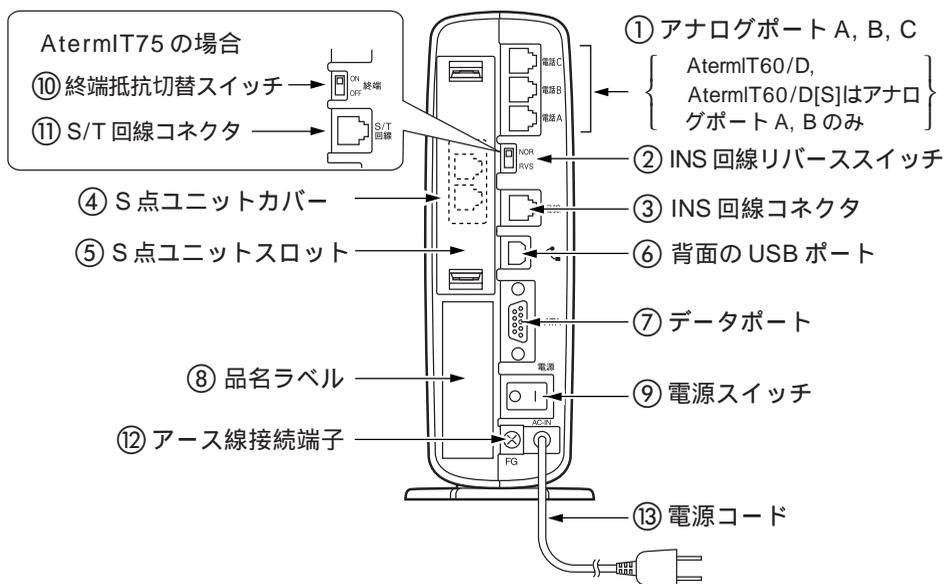
B1 B2

B1チャンネル、B2チャンネルを使用中に表示されます。

RDY

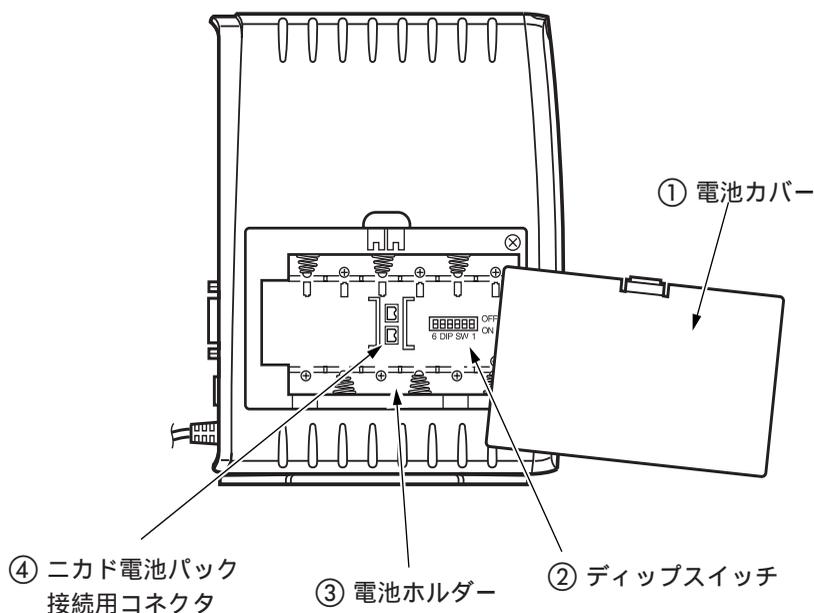
データポートにパソコンが接続され、パソコンのER(Equipment Ready)信号がオンしているときに表示されます。

背面からみたところ



- ① アナログポート A, B, C 電話機、ファクス、モデムなどを接続するコネクタです。(AtermIT60/D, AtermIT60/D[S]はアナログポート A, B のみ)
- ② INS 回線リバーススイッチ INS ネット64の配線が逆転しているとき(同期がとれないとき)に切り替えます。切り替えるときは、細く硬いもの(例えば、つまようじの先など)を使ってください。
- ③ INS 回線コネクタ 添付の回線ケーブルを使用して、INS ネット64回線と接続するコネクタです。
- ④ S 点ユニットカバー 別売りのS点ユニットの着脱時にこのカバーをはずします。
- ⑤ S 点ユニットスロット 別売りのS点ユニット(PC-IT/U03)または高機能S点ユニット(PC-IT/UX2)を増設するための拡張スロットです。
- ⑥ 背面の USB ポート パソコンの USB ポートに接続するコネクタです。
- ⑦ データポート 添付の RS-232C ケーブルを使用してパソコンに接続するコネクタです。
- ⑧ 品名ラベル Aterm の認定番号や製造番号などが記載されています。
- ⑨ 電源スイッチ 電源をオン/オフするスイッチです。オンにするときは「I」側を押します。
- ⑩ 終端抵抗切替スイッチ 終端抵抗を設定するスイッチです。
- ⑪ S/T 回線コネクタ 添付の回線ケーブルを使用して DSU と接続するコネクタです。
- ⑫ アース線接続端子 アース線を取り付けるための端子です。
- ⑬ 電源コード AC100V の家庭用電源コンセントに接続するコードです。

左側面からみたところ



- ① 電池カバー ツメの部分押し下げながら、カバーを持ち上げるようにするとはずれます。
- ② ディップスイッチ OCNエコノミーなどを利用するときに設定します。
- ③ 電池ホルダー 停電モードで使用する場合、市販の単3アルカリ乾電池（6本）または別売りのニカド電池パックを入れるためのホルダーです。
- ④ ニカド電池パック 接続用コネクタ ニカド電池パックを使用するときにこのコネクタに接続します。

1-5. Aterm を設置するときのご注意

警告

設置場所について

風呂、シャワー室への設置禁止

ふる場やシャワー室などでは使用しないでください。漏電して、火災・感電の原因となります。

水のかかる場所への設置禁止

水のかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用しないでください。漏電して、火災・感電の原因となります。

電源について

商用電源以外の禁止

AC100Vの家庭用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。

差し込み口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の電源プラグを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災・感電の原因となります。

電源コードの取扱注意

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、ご購入店またはNECサービスステーションに修理をご依頼ください。

ぬれた手で操作の禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

たこあし配線の禁止

本装置の電源コードは、たこあし配線にしないでください。たこあし配線にするとテーブルタップ等が過熱・劣化し火災の原因となります。



⚠ 注 意

設置場所について

火気のそばへの設置禁止

本装置や電源コードを熱器具に近づけないでください。ケースや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



温度の高い場所への設置禁止

直射日光の当たるところや、温度の高いところ、発熱する装置のそばに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



油飛びや湯気の当たる場所への設置禁止

調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



さかさま置き禁止

本装置をさかさまに置かないでください。また、縦置きにする場合は必ず縦置きスタンドを使用してください。



不安定な場所への設置禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、本装置の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



通風孔をふさぐことの禁止

本装置の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。



- ・ あお向けや逆さまにする
- ・ 収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
- ・ じゅうたんや布団の上に置く
- ・ テーブルクロスなどを掛ける

重ね置きの禁止

本装置を重ね置きしないでください。重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



⚠ 注意

電源について

プラグの取扱注意

電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。

抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



アース線の取り付け

万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。

**STOP**

お願い

設置場所について

本装置を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。

- ・ ほこりや振動が多い場所
- ・ 気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
- ・ ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置などが近くにある場所
- ・ 高周波雑音を発生する高周波マシン、電気溶接機等が近くにある場所



2 接続とその確認をする

Aterm の接続のしかたを説明します。
接続が終わったら電話が使えることを確認します。

2-1. 接続のしかた

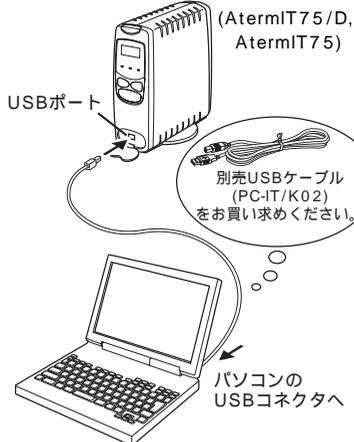
2-1-1. 全体接続図

電話機やパソコンを接続する（パソコンを USB ポートに接続する場合）

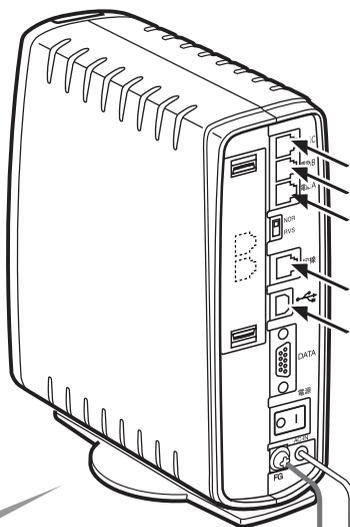
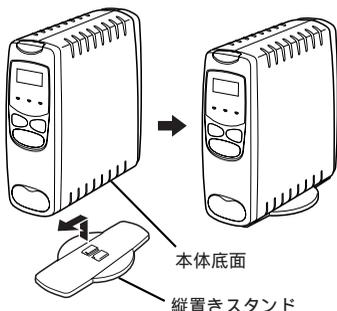
各接続機器の左上に書かれている番号順に接続してください。USBポートはデータポートと同時に使用できません。

AtermのUSBポートはパソコンやOSによっては使用できなかったり、制限事項があります。Windows®98/Windows®95をご利用の方は、別冊『お困りのときには』USBについてのQ&A（☞1-17ページ）を参照してください。Macintoshをご利用の方は、別冊『USBでiMac/Power Macintosh G3をご利用の場合に』を参照してください。

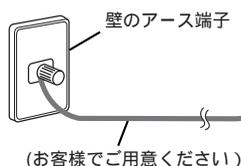
3 パソコンの接続 （前面USBポート） 続する方のみ （☞2-9ページ）



縦置きスタンドを図のようにはめ込んでください。



4 アースの接続 （☞2-11ページ）



5 電源の接続 （☞2-11ページ）



* 電源は壁コンセントに接続してください。パソコンなどのスイッチと連動しているコンセントには接続しないでください。



- 落雷およびノイズ対策
回線や電源コードから入り込むノイズ（雷等）から装置を保護するためにアース線の接続と別売りの雷防護アダプタ（PC-IT/SP01）のご使用を推奨いたします（アース線は別にご用意ください）。ただし、雷防護アダプタを使用していても落雷の程度によっては、二次災害を防止するために装置内の一部分が破される場合があります。落雷などの天災地変による故障の場合は、保証期間内でも有料修理となりますのであらかじめご了承ください。
- 停電時にAtermを使うために
あらかじめ電池ホルダーに停電用の電池をセットしておくことで停電時に電話AとUSBポートに接続されている機器を使うことができます。☞4-5ページ

1 電話機やファクス/モデムの接続（☞2-6ページ）

停電時でも使いたい電話は電話Aポート（一番下）に接続してください。

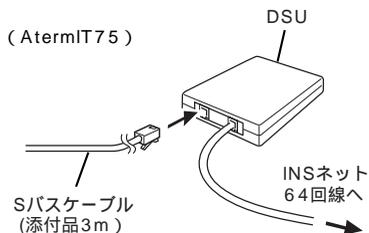


2 INSネット64の接続（☞2-7ページ）

（AtermIT75/D, AtermIT60/D,
AtermIT60/D[S]）



（AtermIT75）



3 パソコンの接続（背面USBポート）

（☞2-9ページ）

（パソコンを接続する方のみ）



（パソコンを接続する方のみ）

AtermIT75/D、AtermIT75の場合、USBポートが前面と背面の2箇所についています。パソコンを1台だけ接続するときは、どちらのポートに接続してもかまいません。両方のUSBポートに接続し、USBネットワーク以外の利用をおこなう場合は、前面のUSBポートのみが使用できます。

電話機やパソコンを接続する（パソコンをデータポートに接続する場合）

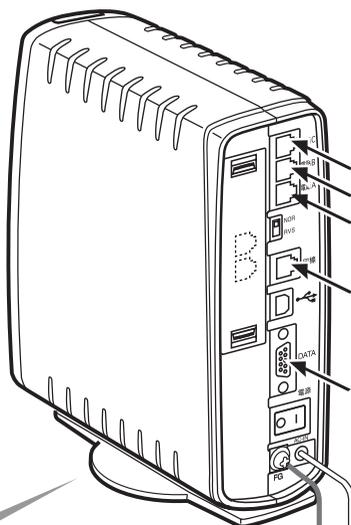
接続には、添付のRS-232Cケーブルを必ずご使用ください。

USBポートとデータポートを同時に使用することはできません。どちらか一方のみを接続してください。両方のポートにケーブルを接続した場合は、USBポートのみが使用できません。

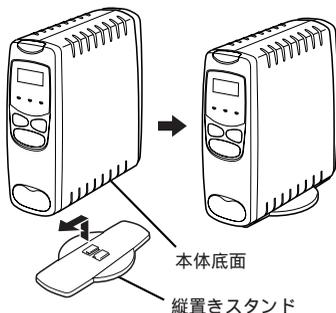


落雷およびノイズ対策

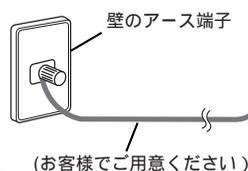
回線や電源コードから入り込むノイズ(雷等)から装置を保護するためにアース線の接続と別売りの雷防護アダプタ(PC-IT/SP01)のご使用を推奨いたします(アース線は別にご用意ください)。ただし、雷防護アダプタを使用しても落雷の程度によっては、二次災害を防止するために装置内の一部分が破られる場合があります。落雷などの天災地変による故障の場合は、保証期間内でも有料修理となりますのであらかじめご了承ください。



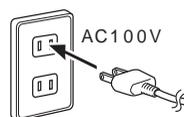
縦置きスタンドを図のように
はめ込んでください。



4 アースの接続 (☞2-11ページ)



5 電源の接続 (☞2-11ページ)



最後に差し込みます。

* 電源は壁コンセントに接続してください。パソコンなどのスイッチと運動しているコンセントには接続しないでください。

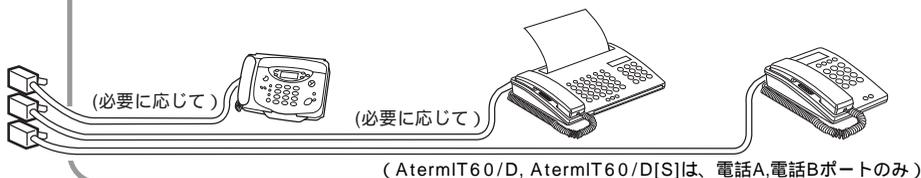


停電時に Aterm を使うために

あらかじめ電池ホルダーに停電用の電池をセットしておくことと停電時に電話 A とデータポートに接続されている機器を使うことができます。☞ 4-5 ページ

1 電話機やファクス / モデムの接続 (☞ 2-6 ページ)

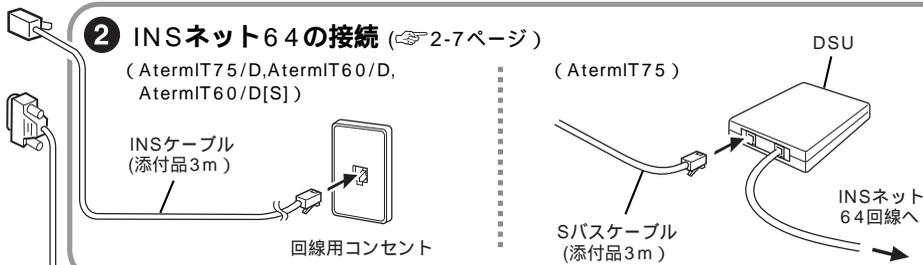
停電時でも使いたい電話は電話 A ポート (一番下) に接続してください。



2 INS ネット 64 の接続 (☞ 2-7 ページ)

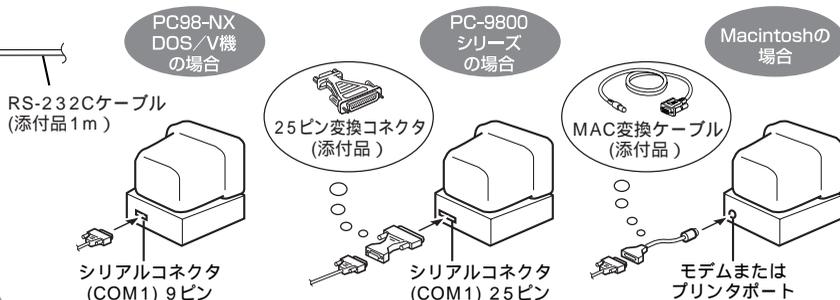
(AtermIT75/D, AtermIT60/D, AtermIT60/D[S])

(AtermIT75)



3 パソコンの接続 (☞ 2-10 ページ)

(パソコンを接続する方のみ)



2-1-2. 電話機やファクス / モデムの接続

アナログポート電話 A、電話 B、電話 C に接続できる装置

端末審査協会の適合マーク「㊤」または「㊦」が付いている電話機、G 3 ファクス、モデム（アナログ通信機器）などです。

ダイヤル方式が「トーン」(プッシュ)のアナログ通信機器です。

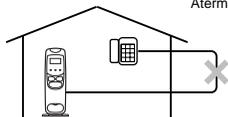
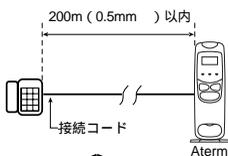
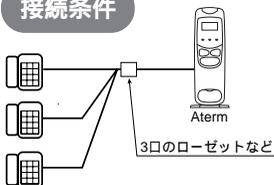
(「トーン」は「PB」と表示されている場合もあります)

「ダイヤルパルス」と「トーン」(プッシュ)をスイッチで切り替えられる電話機もあります。設定方法は、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

注意!

今までお使いの電話がプッシュホン契約でない場合は、必ず電話機のダイヤル方式を「トーン」(プッシュ)に切り替えてください。

接続条件



- 1つのアナログポートに3台(合計容量:3 μ F/2k Ω 以下)まで接続(ブランチ接続)できます。

接続できるものはアナログ網でブランチ接続可能な装置です。ただし通話できるのは1台のみになります。

- 接続コードの長さは、太さ0.5mmの線を使って200m以内にしてください。

接続する機器の種類によっては、さらに短くなる場合があります。

- モジュラケーブルや回線ケーブルは、絶対に屋外を通さないでください。雷などによる傷害の原因になります。

参考

あらかじめ電池ホルダーに停電用の電池をセットしておくと停電時に電話Aに接続されている機器を使うことができます。☞4-5ページ
停電時でも使いたい電話等は電話Aポート(一番下)に接続します。

注意!

Atermのアナログポートは疑似的にアナログ回線と同等の環境を作り出しており、本当のアナログ回線ではありません。従って、ご使用されているアナログ機器によってはご使用になれない場合もありますのであらかじめご了承ください。

2-1-3. INS ネット 64 の接続

Aterm IT75/D, AtermIT60/D または AtermIT60/D[S]の場合

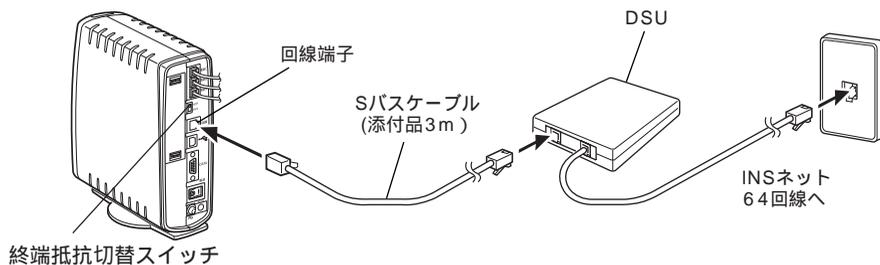
添付のINSケーブルを使って接続します。Atermの「回線端子」とINSネット64回線用コンセントを接続します。



添付のINS回線ケーブルが短いときは、市販の電話機用モジュラーケーブルをお買い求めください。また、回線用コンセントの形状によっては、直接接続できない場合があります。

☞1-7 ページ

AtermIT75 (DSU なし機種) を 1 台接続する場合



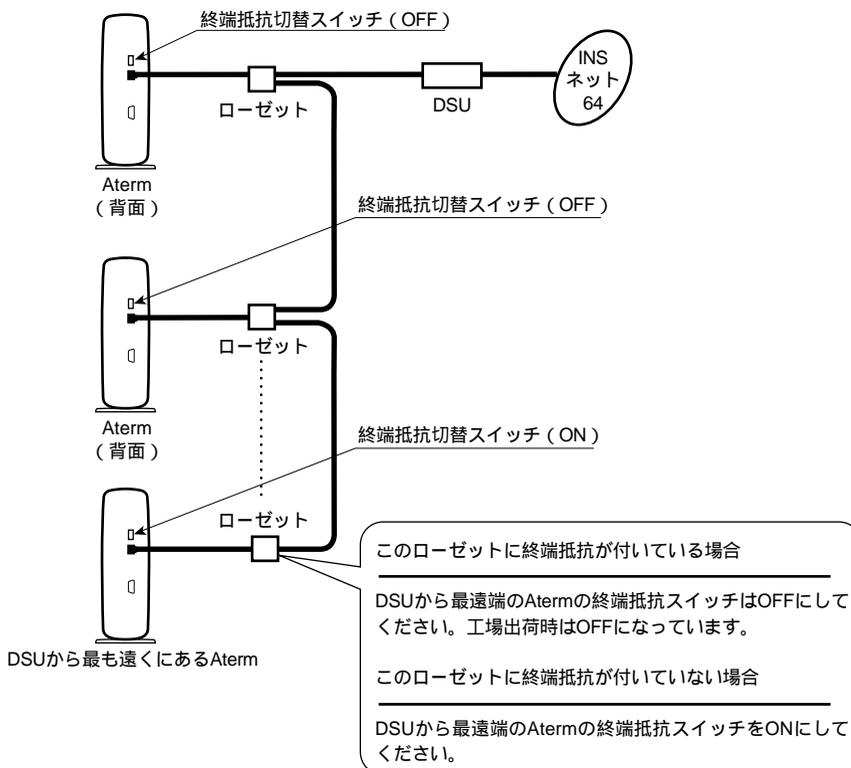
AtermIT75をご購入の方は、DSUをご購入(工事が必要になる場合もあります)になり、次のように接続してください。

- ステップ1 DSUのカバーを開き、中の差し込み口(モジュラジャック)に添付のSバスケーブルの一方を接続します。
- ステップ2 次にAtermのS/T回線コネクタにもう一方のSバスケーブルを接続します。
- ステップ3 終端抵抗切替スイッチを「ON」側に設定します。



AtermIT75 を 2 台以上接続する場合

ローゼットとDSU間の配線工事は、「工事担任者」の資格が必要となる場合があります。



終端抵抗とは...

DSUから最遠端のローゼットまたはISDN機器に入れる抵抗です。回線の送受信線それぞれに入れて、信号波形を正常に保ちます。



添付のSバスケーブルが短いときは、別売のSバス延長ケーブル (PC-IT/K11, PC-IT/K12)をお買い求めください。

2-1-4. パソコンの接続

USB ポートに接続する場合

- * AtermのUSBポートは、パソコンやOSによっては使用できなかったり、制限事項があります。Windows98/Windows95をご利用の方は、別冊『お困りのときには』USBについてのQ&A (☞1-17ページ)を参照してください。Macintoshをご利用の方は、別冊『USBでiMac/Power Macintosh G3をご利用の場合に』を参照してください。

AtermIT75/D, AtermIT75 の場合、USBポートが前面と背面の2箇所についています。パソコンを1台だけ接続するときは、どちらのポートに接続してもかまいません。両方のUSBポートに接続し、USBネットワーク以外の利用をおこなう場合は、前面のUSBポートのみが使用できます。

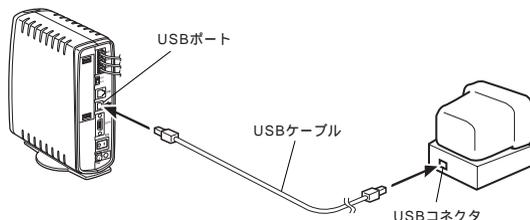
注意!

添付しているUSBケーブルは1本です。2本目は別売のUSBケーブル(PC-IT/K02)をご用意ください。

接続図

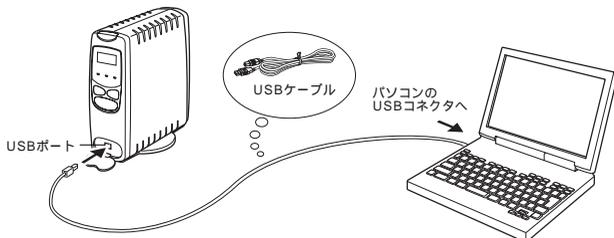
パターン1

背面のUSBポートに接続する
接続のケーブルは添付品を使用してください。



パターン2

前面のUSBポートに接続する(AtermIT75/D, AtermIT75のみ)
接続のケーブルは添付ケーブルまたは別売のUSBケーブル(PC-IT/K02)をお客様でご用意ください。



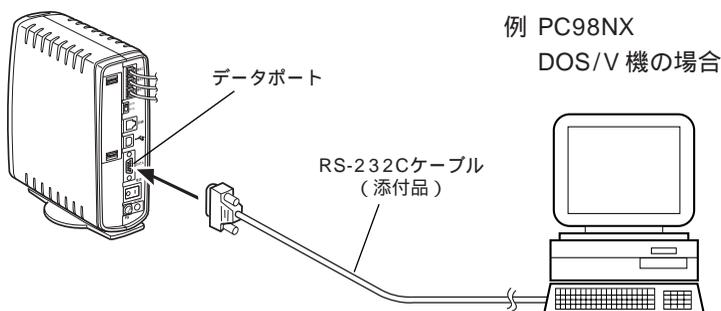
データポートに接続する場合

接続には、添付のRS-232Cケーブルを必ずご使用ください。

注意!

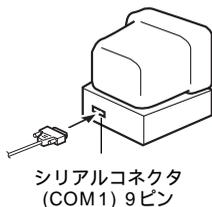
データポートとUSBポートを同時に使用することはできません。どちらか一方のみを接続してください。両方のポートにケーブルを接続した場合は、USBポートのみが使用できます。

接続図

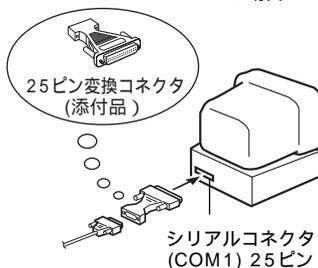


パソコンの種類により使用するケーブルが違います

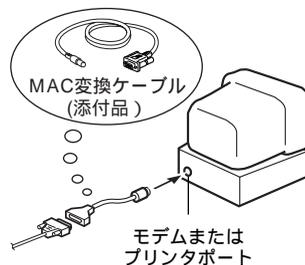
PC98-NX
DOS/V機
の場合



PC-9800
シリーズ
の場合



Macintoshの
場合



2-1-5. アースと電源の接続

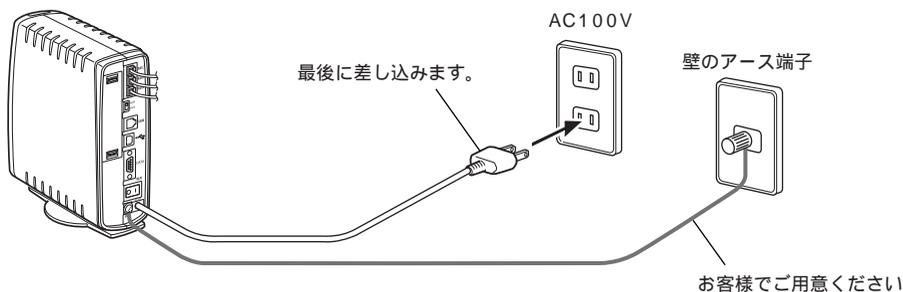
ステップ1

Aterm 背面の「アース線接続端子」にアース線を接続します

アース線は、添付していませんので、あらかじめご用意のうえ、壁や電源コンセントのアース端子に接続してください。アース線は、万一の落雷などの電撃事故が起こった際に人身への傷害や機器の損傷を防止するためのものです。

ステップ2

アナログポートに接続した電話機の手話器が正しく置いてあることを確認したあと Aterm の電源プラグを電源コンセントに接続します

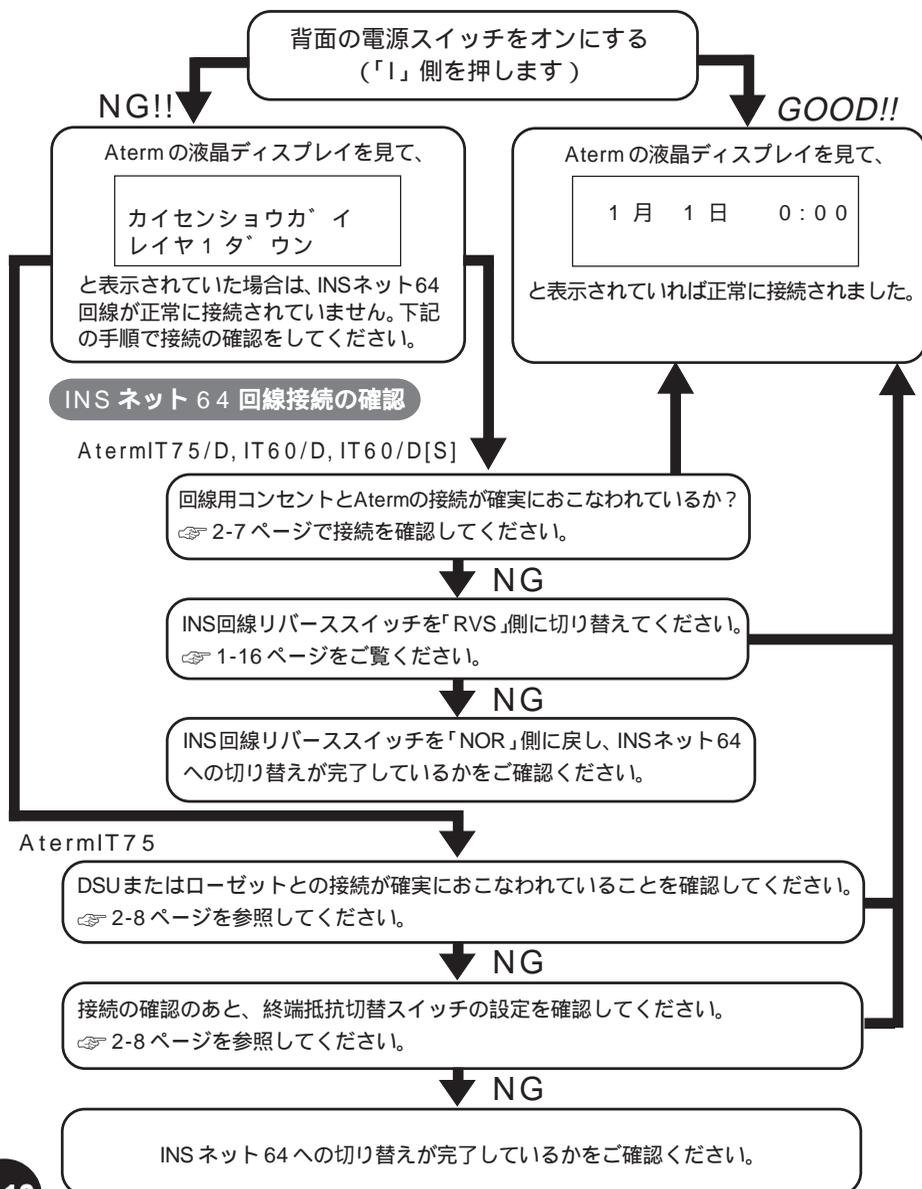


注意!

電源は、パソコンなどのスイッチと連動しているコンセントに接続しないで、壁などの電源コンセントに接続してください。電源が切られると停電モードになり電池で動作するので、電池を消耗します。

2-2. 電源を入れる

接続がすべて終わったら、アナログポートに接続した通信機器の受話器は置いたままの状態
で電源を入れます。Atermの電源をオンにするときは、背面の電源スイッチの「I」
側を押します。PWRランプが緑色に点灯します。



2-3.電話が使えることを確認する

ステップ1 Aterm に接続した電話機の受話器を上げます

「ツー」という音が聞こえます。

ステップ2 ① ① ⑦ (時報)などをダイヤルし、
を押します

ステップ3 つながったら、受話器を置きます
以上で Aterm の接続とその確認作業が完了しました。

Aterm の液晶ディスプレイ

A
1 月 1 日 0 : 0 0

A ポートに接続した電話機
の受話器をあげた例

A
アナログ A ハッシン
1 1 7

アナログ A セツタン
0 1 6 1 0 円

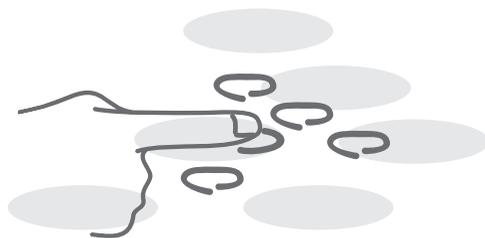
切断理由

通話料金



つながらないときには...

- Aポートに接続した電話の受話器をあげた時にAが表示されない場合はAtermと電話機が正しく接続されていないことが考えられます。電話機に添付のケーブルでしっかり接続してください。
- ダイヤルしても、「アナログ A ハッシン」が表示されない場合は、電話機の設定がトーン (PB) になっていることを電話機のマニュアルをご覧になって確認してください。



3 Aterm を使えるようにする (基本設定をする)

パソコンや電話機を使って、基本的な設定をします。

Aterm は、電話機だけをアナログポートすべてに接続して契約者回線番号で同時に呼び出す場合には設定の必要はありません。

設定のしかたには、パソコンを接続している人はパソコン(Windows98/Windows95  3-2 ページ、Macintosh  3-23 ページ)を使って、電話機だけを接続している人は電話機( 3-39 ページ)を使って設定してください。

3-1. パソコンから設定する

3-1-1. Windows 98 / Windows 95 ユーザの場合

らくらくウィザードを使う

「IT75/IT60らくらくウィザード」を使って簡単に「基本的な設定」と「インターネットへアクセスするための設定」をおこなうことができます。マニュアルに記載されている順番に従ってお読みください。パソコンの画面はお客様の環境によって異なることがあります。

「らくらくウィザード」をインストールする

ステップ1 Windows®98/Windows®95がインストールされているパソコンの電源を入れます

ステップ2 添付の「AtermIT60/75シリーズユーティリティ集」CD-ROMをCDドライブにセットします

案内画面が自動的に表示されます。

CD-ROMを入れてもメニューが表示されないときは、「ファイル名を指定してインストールする」の操作をおこなってください。☞3-12ページ

ステップ3 [らくらくユーティリティ(Windows98/Windows95用のインストール)] ボタンをクリックします

しばらくするとユーティリティインストーラ画面が表示されます。

ステップ4 [次へ] ボタンをクリックします

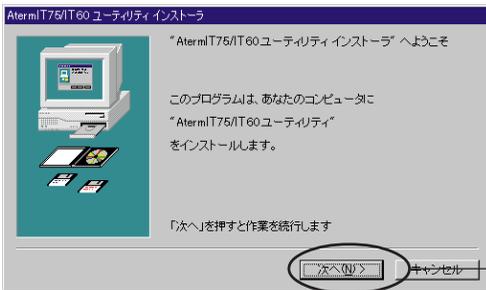


[次へ] ボタン

Windows®98 は Microsoft® Windows®98 operating system の略です。
Windows®95 は Microsoft® Windows®95 operating system の略です。

ステップ5

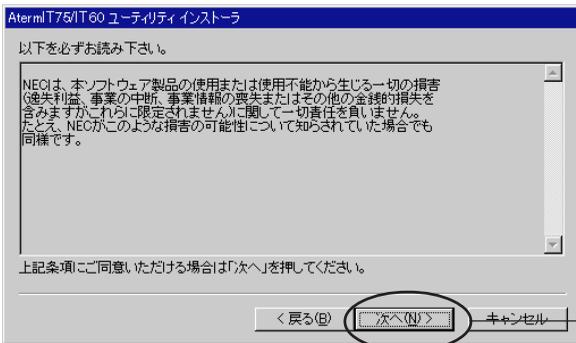
次へ ボタンをクリックします



[次へ] ボタン

ステップ6

[ユーティリティインストーラ]画面が表示されるので、内容をよくお読みになったあと、同意される場合は、**次へ** ボタンをクリックします

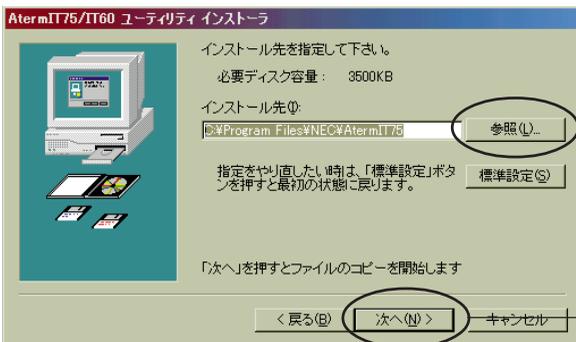


[次へ] ボタン

ステップ7

[ユーティリティインストーラ]画面（インストール先を指定する画面）でインストール先とフォルダ名を決めます

通常は、このまま **次へ** ボタンをクリックします。



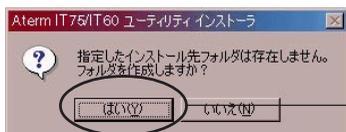
[参照] ボタン

[次へ] ボタン

インストール先およびフォルダ名を変更するときは、**参照** ボタンをクリックし、表示された画面でインストール先を指定します。

この画面が表示されたとき

はい ボタンをクリックします。



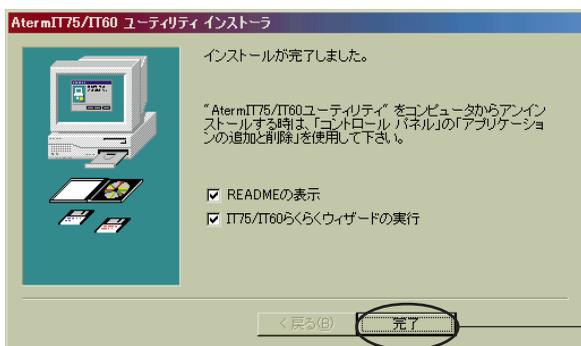
[はい]ボタン

インストールが始まります。

ステップ8

[インストール完了] 画面が表示されます

「IT75/IT60らくらくウィザードの実行」のチェックボックスが であることを確認してから **完了** ボタンをクリックします。



[完了]ボタン

「READMEの表示」のチェックボックスが である（チェックされている）と、「IT75/IT60らくらくウィザード」を実行する前にユーティリティに関する説明文が表示されます。

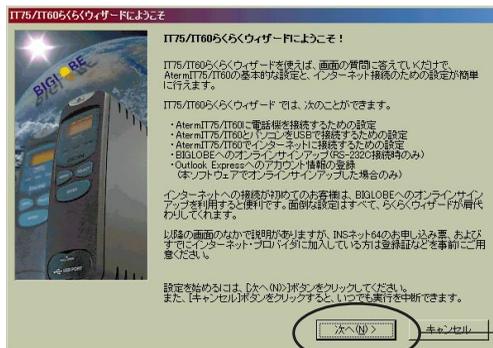
ステップ9

「README」をよくお読みになった後は、クローズボックスをクリックします

らくらくウィザードで設定する

ステップ9

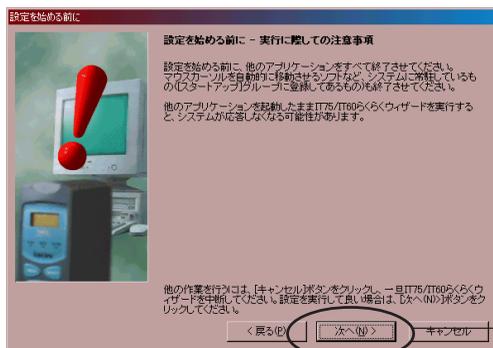
[IT75/IT60らくらくウィザードへようこそ]画面の内容をよくお読みになってから、**次へ** ボタンをクリックします



[次へ]ボタン

ステップ10

[設定を始める前に]画面の内容をよくお読みになってから、**次へ** ボタンをクリックします



[次へ]ボタン

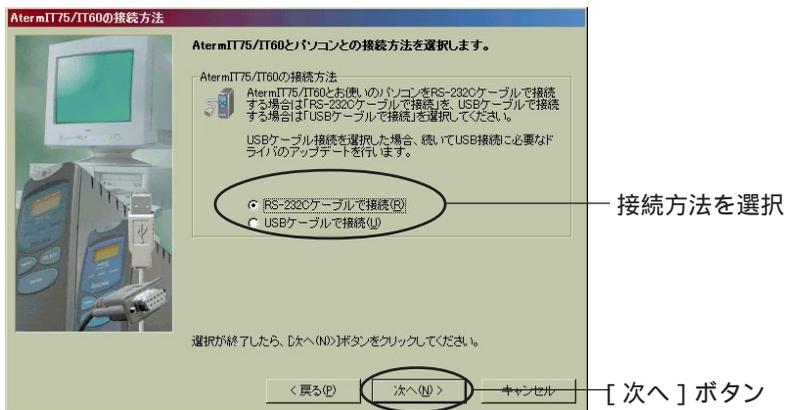
注意!

パソコンによっては、動作しなかったり途中で止まる場合があります。その場合は別冊の『お困りのときには』を参照してください。

参考

[らくらくウィザード]の設定後に再度[らくらくウィザード]を起動したい場合は、次の操作をおこなってください。

- 1 **スタート** 「プログラム」 「AtermIT75/IT60 ユーティリティ」 「IT75/IT60らくらくウィザード」を選択します。
[らくらくウィザードへようこそ]画面が表示されます。
- 2 上記、ステップ9からの操作をします。



データポートに接続する場合

[RS-232C ケーブルで接続]側を●にして、**次へ** ボタンをクリックします。

☞ ステップ 13 へ進みます。

USB ポートに接続する場合

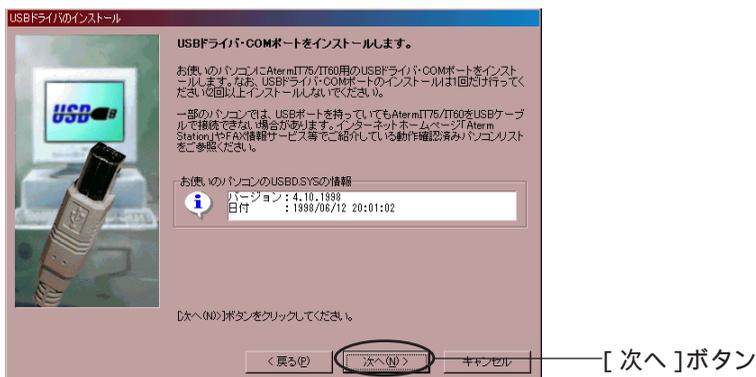
[USB ケーブルで接続]側を●にして、**次へ** ボタンをクリックします。

☞ USB ドライバがすでにインストールされているパソコンの場合は、ステップ 12 の [USB ドライバのアップデート]画面が表示されます。

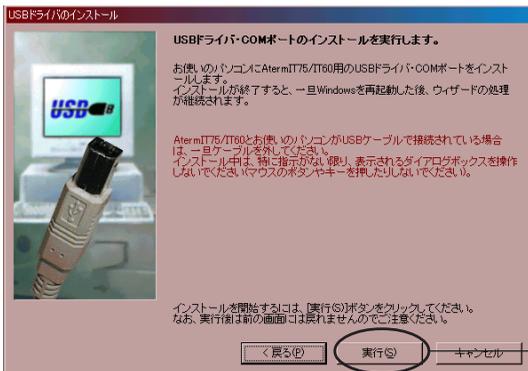
- ① USB ドライバがインストールされていないパソコンの場合は、次の [USB ドライバのインストール]画面が表示されます。

注意!

パソコンによってはWindows95でご使用になれない場合があります。あらかじめ、別冊『お困りのときには』の「USBについてのQ&A」(☞P.1-17 ページ)を参照してください。



- ② USB ドライバをインストールする場合は、**次へ** ボタンをクリックし、次の画面の**実行** ボタンをクリックします。



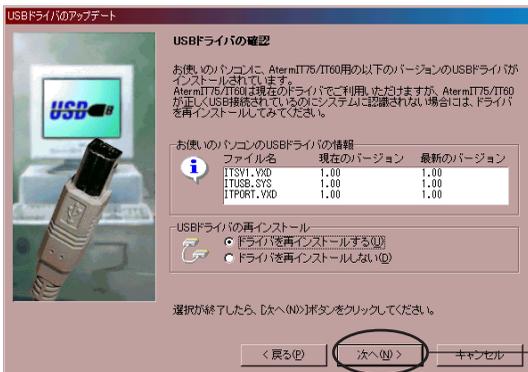
[実行] ボタン

USB ドライバ・COM ポートのインストールを始めます。インストールが終了したら**再起動** ボタンをクリックしてからステップ 13 に進みます。

ステップ 12

[USB ドライバのアップデート]画面で USB ドライバのバージョンを確認します。「現在のバージョン」表示が「最新のバージョン」表示と同じかそれ以上のときは、[ドライバを再インストールしない]側が●になっていることを確認してから**次へ** ボタンをクリックします。

「現在のバージョン」表示が「最新のバージョン」表示よりも古いときは[ドライバを再インストールする]側を●にして**次へ** ボタンをクリックします。



[次へ] ボタン

[USB ドライバのアンインストール]画面が表示されるので、**USB ケーブル**をいったんはずしてから**実行** ボタンをクリックします。

アンインストール完了の画面が表示されたら、**OK** ボタンをクリックしステップ 13 へ進みます。

ステップ13

[接続 COM ポート]画面が表示されます

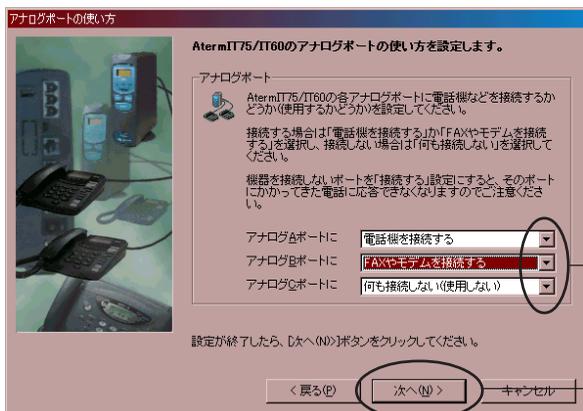
接続されているCOMポートを確認してから [次へ] ボタンをクリックします。



[次へ] ボタン

ステップ14

[アナログポートの使い方]画面でアナログポートに接続している機器を設定します



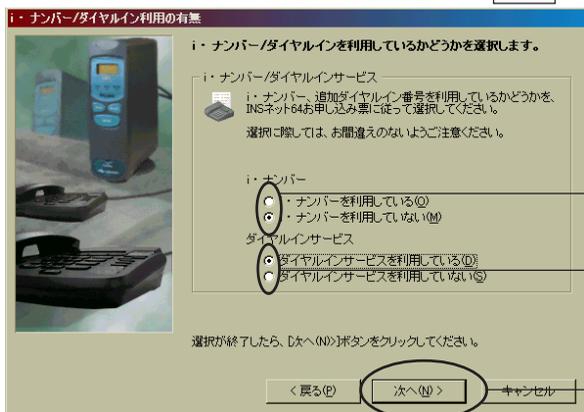
▼で表示させて
接続機器を選択

[次へ] ボタン

電話機を接続しているポートは、[電話機を接続する]を選びます。
ファクス、ファクス付き電話機、アナログモデムを接続しているポートは、
[FAXやモデムを接続する]を選びます。
何も接続していないポートには、[何も接続しない(使用しない)]を選びます。
設定が終了したら [次へ] ボタンをクリックします。

ステップ15

[i・ナンバー / ダイヤルイン利用の有無]画面でINSネット64のi・ナンバー / ダイヤルインサービスを利用しているかどうかの契約内容を、「INSネット64お申込票」をご覧ください確認してから選択し、**次へ** ボタンをクリックします



i・ナンバー契約の有無

ダイヤルインサービスの契約の有無を選択

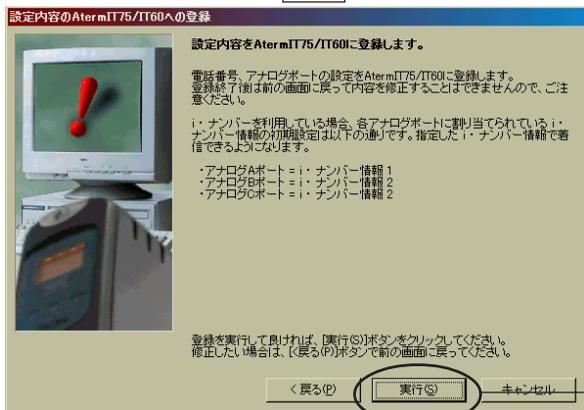
[次へ]ボタン

ステップ15で[i・ナンバーを利用している]を選択した場合は、ステップ16へ進みます。

ステップ15で[i・ナンバーを利用していない]を選択した場合は、ダイヤルインサービスを利用しているか、利用していないかについて選択し、**次へ** ボタンをクリックします。ステップ17へ進みます。

ステップ16

注意事項をお読みのうえ、**実行** ボタンをクリックします



[次へ]ボタン

ステップ19へ進みます。

ステップ17

[電話番号の設定]画面が表示されます

画面は「ダイヤルインサービスを利用している」場合の例です。

電話番号とダイヤルインに関するオプションを設定します。

契約者回線番号(自宅電話番号)とダイヤルイン番号、グローバル着信の有無をINSネット64お申込書に記述して設定してください。入力するすべての数字で行ってください。なお、区切り記号に使用できるのはハイフン記号のみです。

契約者回線番号

市外局番 電話番号

回線番号(②) 03 - [XXXXXXXX]

グローバル着信利用(②) グローバル着信利用しない(②)

ダイヤルイン(1個の場合1番のみ入力)

市外局番 電話番号

ダイヤルイン1番(1) 03 - [XXXXXXXX]

ダイヤルイン2番(2) -

設定が終了したら、[次へ(N)]ボタンをクリックしてください。

<戻る(B) 次へ(N) > キャンセル [次へ]ボタン

INS ネット 64 お申込書のグローバル着信を「利用する」にして契約した場合は、[グローバル着信利用]側を●にします。

お申込書のグローバル着信が「利用しない」になっている場合は、[グローバル着信利用しない]側を●にします。

契約者回線番号とダイヤルイン番号の入力は半角数字を使います。

ダイヤルイン番号が1つの場合は、[ダイヤルイン1番(1)]の欄に入力します。

入力が終わったら [次へ] ボタンをクリックします

ステップ18

[電話番号のアナログポートへの登録]画面が表示されます

この画面では、各アナログポートに電話番号の割り当てをおこないます。

それぞれのアナログポートに割り当てる電話番号をポップアップメニューの中から選びます。

電話番号の割り当てが終わったら [次へ] ボタンをクリックします

電話番号をAtermIT75/IT60のアナログポートに登録します。

電話番号のアナログポートへの割り当て

AtermIT75/IT60の各アナログポートに電話番号を割り当てます。
電話番号を割り当てることにより、特定のポートに指定した番号で着信できるようになります。

アナログポート(A) 0300000012

アナログポート(B) 0300000013

アナログポート(C) 割り当てなし

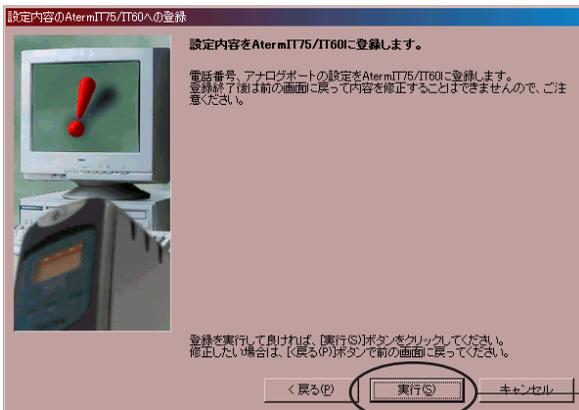
登録が終了したら、[次へ(N)]ボタンをクリックしてください。

<戻る(B) 次へ(N) > キャンセル [次へ]ボタン

各アナログポートに割り当てる電話番号を設定

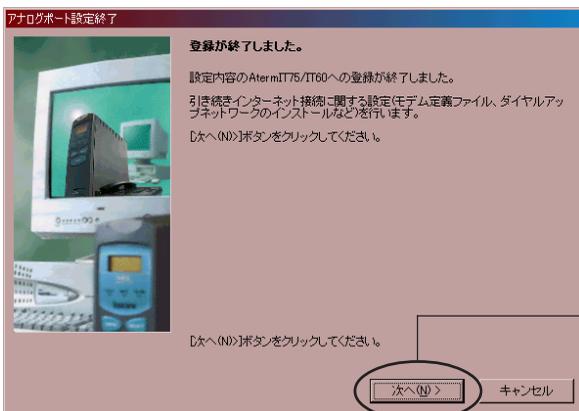
[設定内容の登録]画面で設定してきたアナログポートの内容をAtermに登録します

実行 ボタンをクリックし、アナログポートの設定内容を Aterm に登録します



[実行]ボタン

登録が終了すると[アナログポート設定終了]画面が表示されます。



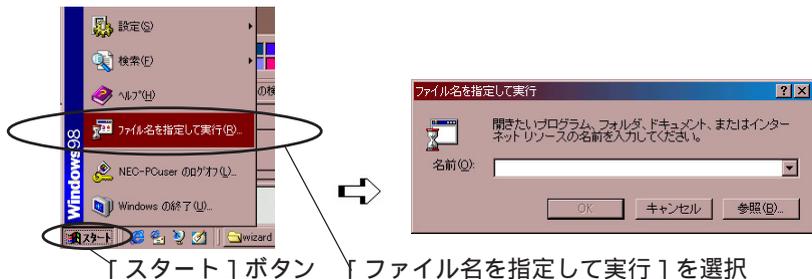
[次へ]ボタン

引き続き **次へ** ボタンをクリックします。インターネット接続に関する設定をおこないます。☞3-13ページ

(インターネット接続に関する設定をおこなわない場合も **次へ** ボタンをクリックします。)

パソコンに CD-ROM を入れてもメニューが表示されなかったとき
ファイル名を指定してインストールする

- ① タスクバーの [スタート] [ファイル名を指定して実行] の順に選択します

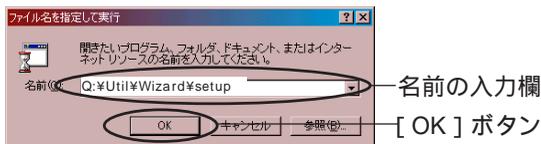


「ファイル名を指定して実行」ダイアログが表示されます。

- ② 名前の入力欄に、半角文字を次のように入力し、**OK** ボタンをクリックします

Q:¥Util¥Wizard¥setup

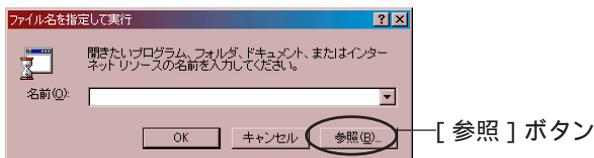
CD-ROM のドライブ名を指定します。



CD-ROM のドライブ名は、パソコンによって異なることがあります。わからないときは、次の操作により CD-ROM ドライブを探することもできます。

- ① **参照** ボタンをクリックします

[ファイルの参照] ダイアログが表示されます。



- ② **ファイルの場所** ボタンをプルダウン表示させ、表示されたリストボックスから CD-ROM ドライブを選択します。

ドライブ名を確認し、**キャンセル** ボタンをクリックします。

インターネット接続に関する設定

[アナログポート設定終了]画面の **次へ** ボタンをクリックすると[プロバイダの選択]画面が表示されます。

【プロバイダの選択画面】



プロバイダを選択

ステップ1

[プロバイダの選択]画面では、設定するプロバイダの種類を選びます。インターネット接続に関する設定をおこなわない場合や既に使うパソコンでダイヤルアップの設定をおこなっている場合は、[設定を行わない]を選択します。

操作が終了したら、ステップ2に進みます。☞3-17ページ

- ・ [BIGLOBE にオンライン・サインアップをする] ☞3-14ページ
- ・ [BIGLOBE を利用する] ☞3-14ページ
- ・ [他のプロバイダを利用する] ☞3-15ページ
- ・ [設定を行わない] ☞3-17ページ



参考

BIGLOBE とは
インターネットとパソコン通信の垣根をなくした“フルコース”
プロバイダ「ビッグロブ」。新しいスタイルの情報メディアと
して、いま、ネットワークたちの熱い視線を集めています。

【プロバイダの選択画面】

プロバイダに未加入で BIGLOBE に加入する場合

[BIGLOBE にオンライン・サインアップする]を選択して [次へ] ボタンをクリックすると、自動的に BIGLOBE との通信による契約手続きをすることができます。画面の指示に従って操作していきます。

プロバイダに加入済で『BIGLOBE』を利用する場合

[BIGLOBE を利用する]を選択し [次へ] ボタンをクリックすると[接続先の設定]画面が表示されます。アクセスポイントには、[電話番号の設定]画面で設定した電話番号から最寄りの場所が表示されます。

変更したい場合は、▼（プルダウンボタン）をクリックして選択してください。お住まいの都市名または、最寄りの都市名を選びます。

次へ ボタンをクリックします

[モデム定義ファイル・ダイヤルアップ接続の登録]画面が表示されます。

実行 ボタンをクリックします。

他のプロバイダに加入済の場合

[他のプロバイダを利用する]を選択すると[接続先の設定]画面が表示されます。契約しているプロバイダの情報を入力します。

プロバイダの情報を
を入力

[次へ] ボタン

[電話番号] 欄には、接続するアクセスポイントの電話番号を半角入力します。
[接続先名]の欄には、契約しているプロバイダの名称を入力します。



[接続先名]の欄には、正確にプロバイダの名称を入力する必要はありません。インターネットへ接続するとき使用するダイヤルアップネットワークの名前になります。

[DNS]欄の[プライマリDNS(1)]と[セカンダリDNS(2)]欄は契約しているプロバイダのユーザ情報資料に従って入力してください。

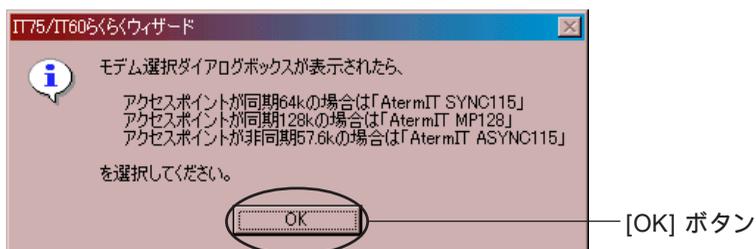
入力が終了したら [次へ] ボタンをクリックします

[モデム定義ファイル・ダイヤルアップ接続の登録]画面が表示されます。

[実行] ボタン

[実行] ボタンをクリックします。

モデム選択説明の画面が表示されるので、よくお読みになったあと **OK** ボタンをクリックします。

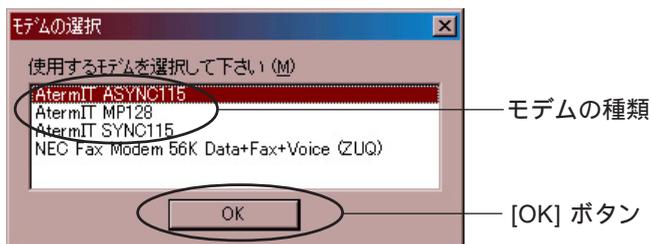


[モデムの選択]画面が表示されるので、モデムの種類を選びます。

「AtermIT MP128」：同期 128k の場合
「AtermIT SYNC115」：同期 64k の場合
「AtermIT ASYNC115」：非同期の 57.6k の場合

} プロバイダのアクセスポイントの接続条件によります。

の中から契約しているプロバイダのアクセスポイントの接続条件と同じ種類のモデム(項目)を選択し、**OK** ボタンをクリックします。



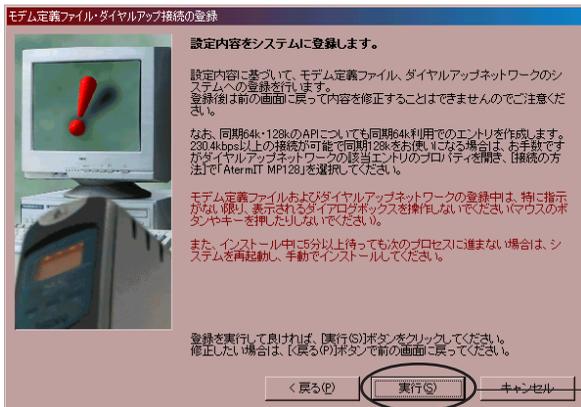
参考

AtermIT MP128 を使用する場合

ユーティリティのデータポート、MP・BOD機能でスループットBODの設定をおこなうと、はじめの発信・接続は64kでおこない、データ量が多くなると128kになります。

また、USBポートご使用の場合は、フレックスBOD for USBをご利用になると、64kと128k接続をパソコン上で切り替えることができるようになります。128k通信は、通信料金が64k通信の2倍かかります。

インターネット接続の設定をおこなわない場合
 [設定を行わない]を選択して[次へ] ボタンをクリックすると[モデム定義ファイル・ダイヤルアップ接続の登録]画面が表示されます。

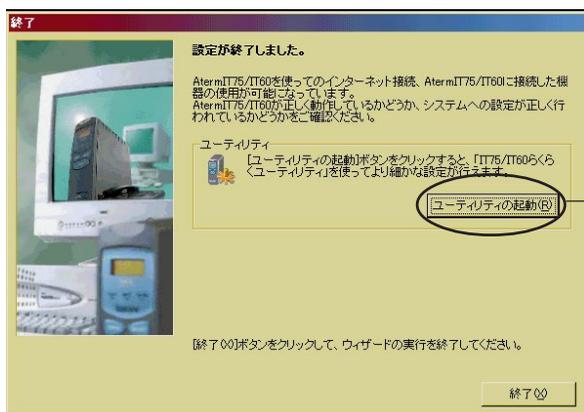


[実行] ボタン

[実行] ボタンをクリックすると設定はおこなわれずに[終了]画面が表示されます。

ステップ2

操作終了後、次の画面が表示されたら、[ユーティリティの起動] ボタンをクリックして、日付・時刻を設定します



[ユーティリティの起動] ボタン

日付・時刻を設定する

「IT75/IT60らくらくユーティリティ」を使って、パソコンの日付・時刻に、Atermの時計を合わせます。

らくらくウィザードの[終了]画面で **ユーティリティの起動** ボタンをクリックすると、[IT75/IT60らくらくユーティリティ]画面が表示されます。

ステップ1 **アナログポート** ボタンをクリックします



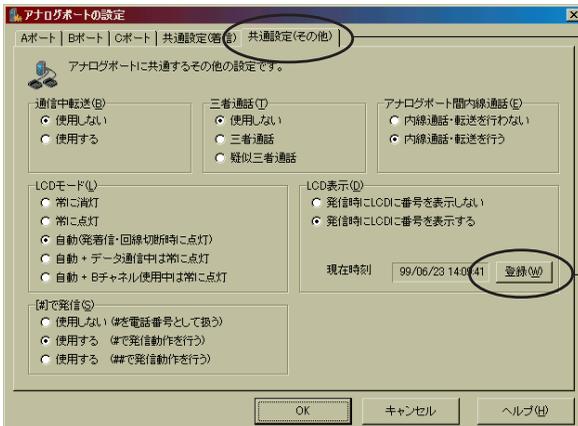
[アナログポート] ボタン

「アナログポートの設定」画面が表示されます。

ステップ2 **[共通設定(その他)]** タグをクリックします

[共通設定(その他)]画面が表示されます。

ステップ3 「LCD表示」欄の **登録** ボタンをクリックします



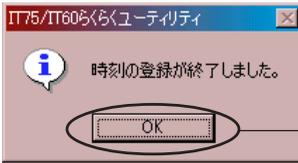
[共通設定(その他)] タグ

[登録] ボタン

ステップ4

[時刻の登録が終了しました]画面が表示されます

OK ボタンをクリックします



[OK] ボタン

パソコンの日付・時刻に Aterm の時計を合わせました。

[共通設定 (その他)] 画面が表示されます。

ステップ5

OK ボタンをクリックします

[IT75/IT60らくらくユーティリティ]画面が表示されます

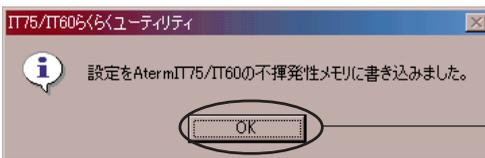
ステップ6

閉じる ボタンをクリックします

[設定を AtermIT75/IT60 の不揮発性メモリに書き込みました] が表示されます。

ステップ7

OK ボタンをクリックして終了します



[OK] ボタン

インターネットへ接続する

プロバイダとの接続を確認する

ここでは、実際にプロバイダのアクセスポイントに電話をかけてインターネットに接続します。

Windows98をお使いの場合でブラウザソフトのアイコンがないとき

Windows98をお使いの場合でデスクトップにブラウザソフトのアイコンがないときは、先に[インターネットエクスプローラ]アイコンを作成します。ブラウザソフト作成後は、デスクトップにアイコンが表示されます。作成は次の手順でおこないます。

- ① デスクトップの[インターネットに接続]アイコンをダブルクリックします
- ② 「インターネット接続ウィザード」が起動します。表示された画面で、オプション選択をします。一番下の選択肢「既にインターネット接続の設定が...表示しない」の○をクリックして●にします
- ③ **次へ** ボタンをクリックして終了します。



デスクトップにあった[インターネットに接続]のアイコンが消えて、[Internet Explorer]と[Outlook Express]のアイコンが作成されます。

ステップ1

[マイコンピュータ] [ダイヤルアップネットワーク] らくらくウィザードで設定した接続するプロバイダの名称のついているアイコンをダブルクリックします

アイコンの名称の[接続]画面が表示されます。

ステップ2

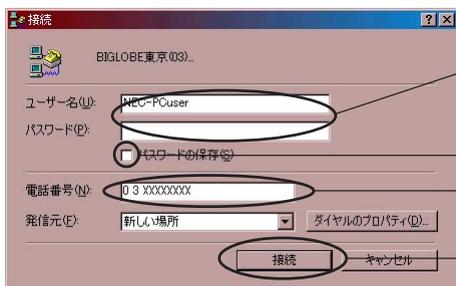
[ユーザー名]と[パスワード]を入力します

[ユーザー名]と[パスワード]は、プロバイダのユーザ設定情報等の資料に従って入力します。

入力には、半角英文字を使います。大文字、小文字の区別もプロバイダからのユーザ情報等の資料にあわせてください。



[パスワードの保存]のチェックマークを☑にすると、入力したパスワードが保存され、次回から入力する必要がなくなります。



ダイヤルアップ接続用の[ユーザー名]と[パスワード]の入力

パスワードの保存
プロバイダのアクセス番号が表示されます

[接続]ボタン

ステップ3

接続 ボタンをクリックします

パソコンからプロバイダに電話をかけ、接続されると[ユーザー名]と[パスワード]の確認がおこなわれます。確認が正常に終了するとプロバイダのホストコンピュータに接続され、パソコンのタスクバーに[ダイヤルアップネットワークモニタ]アイコンができます。



[ダイヤルアップネットワークモニタ]アイコン

ステップ4

ブラウザソフトを起動します

[インターネットエクスプローラ]や[ネットスケープナビゲータ]などのアイコンをダブルクリックします。

ステップ5

見たいホームページのアドレス(URL)たとえば <http://aterm.cplaza.ne.jp>)を入力し、リターンキーを押します

ホームページを見ることができます。



Atermをお買い上げいただいたお客様を対象にユーザ登録をおこなっています。登録していただいたお客様には、Atermをご使用のお客様へのサービスの一環といたしまして、電子メールによる新製品情報、バージョンアップの案内を中心に、さまざまな情報提供やキャンペーン、イベントなどの特典・サービスを提供して参ります。是非ユーザ登録をおこなってください。登録はインターネットホームページ「AtermStation」にておこなっています。

事前にご用意いただくもの

1. Aterm 本体 (機種名、製造番号)
2. 電子メールアドレス (最も一般的に使用しているアドレス)
3. Aterm を使用する ISDN 回線の契約者回線番号

接続を切断するとき

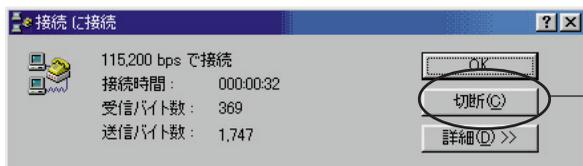
ステップ1 見終わったらファイルメニューから[終了]を選んでブラウザソフトを終了します

ステップ2 タスクバーの[ダイヤルアップネットワークモニタ]アイコンをダブルクリックします

ステップ3 **切断** ボタンをクリックします

注意!

切断 ボタンをクリックしないと、ブラウザソフトを終了しても電話はつながったままになっています。
インターネットの接続をやめるときは、必ず[ダイヤルアップネットワーク]画面の **切断** ボタンをクリックしてください。



[切断] ボタン

インターネットの接続が切断されます。

通信回線が正常に切断されると、Atermの液晶ディスプレイに「データセツダン」が約 20 秒間表示されます。

注意!

切断 ボタンをクリックしてもAtermの液晶ディスプレイにデータ通信中のピクトグラム(➡B1B2)のどちらかが表示されているときは、通信回線がつながったままになっています。そのまま放置すると通信費用がかかり続けます。このようなときは、AtermとINSネット64を接続している回線ケーブルを一度抜いて通信回線を強制的に切断してください。
回線ケーブルを抜くとAtermのすべての通信が切断されるので、他の機器が通信(通話)中ではないことを確認してから回線ケーブルを抜いてください。

参考

AtermのUSBポートまたはデータポートでは自動発信をする場合、通信相手が話中のときには再発信の回数は最初の発信から3分間で2回以内に制限しています。
この制限をこえる再発信は受け付けません。

3-1-2. Macintosh ユーザの場合

「基本的な設定」を「AtermIT75/IT60 らくらくユーティリティ」で、「インターネットへアクセスするための設定」を Macintosh OS に添付の Open Transport PPP を使用しておこないます。

日付・時刻の設定は、電話機からおこなってください。☞3-39 ページ

らくらくユーティリティをインストールする

- ステップ1 Macintosh の電源を入れます
- ステップ2 添付の「AtermIT60/75 シリーズユーティリティ集」CD-ROM を CD ドライブにセットします
画面に CD-ROM のアイコンが表示されます。
- ステップ3 CD-ROM のアイコンをクリックします
- ステップ4 「IT60/75 ユーティリティ」フォルダをハードディスクにコピーします
- ステップ5 「AtermIT60/75 シリーズユーティリティ集」CD-ROM を取り出します
これでインストールは完了です。

IT75/IT60 らくらくユーティリティの基本操作について

IT75/IT60 らくらくユーティリティ画面のアイコンやボタンをマウスで操作して Aterm の設定をおこないます。各設定画面を開くと Aterm に設定されている値が表示されます。

入力のしかたとボタンについて

画面上の項目の左側に○や●がある場合は、●になっている項目が設定値です。●をクリックすると○になり、○をクリックすると●になります。

になっているところは、 をマウスでクリックし、キーボードから設定値を入力します。

登録 ボタンをクリックすると設定値を Aterm に登録します。

注意!

アナログポート着信中は、**登録** ボタンをクリックしないでください。クリックすると呼出音が変わることがあります。

ヘルプボタンについて

画面内の項目の意味を知るときには、メニューバーの[ヘルプ]の中から[バルーン表示]を選び、項目の上にポインタを移動します。ポインタを重ねた項目の意味をバルーン表示で解説します。バルーン表示についてはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

らくらくユーティリティで設定する

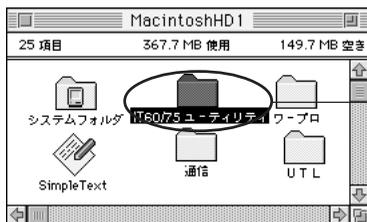
らくらくユーティリティを使って、アナログポートの設定など基本的な設定をしていきます。

注意!

接続しているアナログ機器を使用しているときは **登録** ボタンをクリックしないでください。クリックするとエラーになります。

ステップ1

ハードディスクにコピーした「IT60/75ユーティリティ」フォルダをダブルクリックします



[IT60/75ユーティリティ] フォルダをダブルクリックする

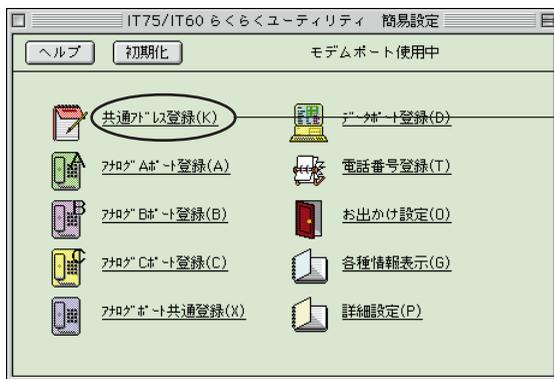
ステップ2

[IT75/IT60らくらくユーティリティ] アイコンをダブルクリックします
[IT75/IT60らくらくユーティリティ簡易設定] 画面が表示されます。

[簡易設定] 画面が表示されないときは (☞ 3-28 ページ) をご覧ください。

ステップ3

[共通アドレス登録] アイコンをクリックします



[共通アドレス登録]

[共通アドレス登録] 画面が表示されます。

ステップ4

i・ナンバー契約の有無を選択し、**次へ** ボタンをクリックします

共通アドレス登録

i・ナンバーに契約されている方は、「使用する」を選択してください。

i・ナンバー

使用しない 使用する

[i・ナンバー契約の有無を選択]

次へ(N) キャンセル ヘルプ(H)

[次へ] ボタン

i・ナンバーを契約していない場合は、[使用しない] の をクリックして にします。

ステップ6に進みます。

i・ナンバーを契約している場合は、[使用する] の をクリックして にします。ステップ5に進みます。

ステップ5

INS ネット 64 で契約した i・ナンバーを登録します

共通アドレス登録 (i・ナンバー使用)

電話番号 内線指定番号 着信ポート

	電話番号	内線指定番号	A	B	C	デフォ
i・ナンバー情報1:	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
i・ナンバー情報2:	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

登録(S) キャンセル ヘルプ(H)

電話番号を入力

[登録] ボタン

i・ナンバー情報の電話番号欄にそれぞれの電話番号を入力し、着信するポートを選択します。「着信ポート」の をクリックして にします。

設定が終わったら **登録** ボタンをクリックします。

[らくらくユーティリティ簡易設定] 画面に戻ります。

ステップ7に進みます。

ステップ6

INS ネット 64 で契約した電話番号を登録します

共通アドレス登録

契約者回線番号のグローバル着信

使用する 使用しない

No.	通知/着信番号	内線
契約者回線番号:		
ダイヤルイン1:		
ダイヤルイン2:		
ダイヤルイン3:		
ダイヤルイン4:		
ダイヤルイン5:		
ダイヤルイン6:		
ダイヤルイン7:		

契約者回線番号:

内線指定番号:

登録(S) キャンセル ヘルプ(H)

グローバル着信使用の有無

電話番号の登録

[設定] ボタン

[登録] ボタン

「契約者回線番号のグローバル着信を使用する」か「使用しない」かと電話番号の登録をします。INS ネット 64 のお申込票と同じ内容を設定してください。

電話番号を登録するときは、登録する No. をクリックした後に電話番号を入力します。電話番号の入力には、半角数字を使います。

設定 ボタンをクリックします。

電話番号の登録が終わったら、**登録** ボタンをクリックします。

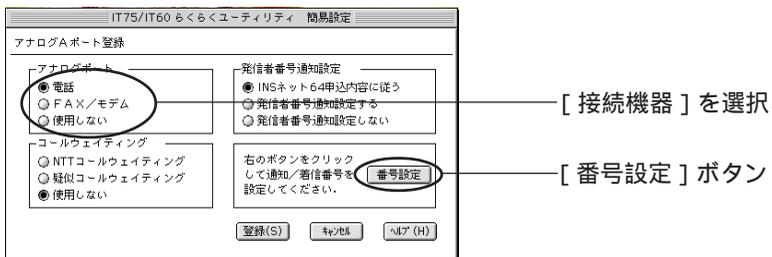
[らくらくユーティリティ簡易設定]画面に戻ります。

ステップ 7

[アナログ A ポート登録]アイコンをクリックします

(ここではアナログ A ポートの登録をおこなう場合を例として説明します。アナログ B ポートおよびアナログ C ポートを設定する場合は、それぞれ読み替えておこなってください。)

[アナログ A ポート登録]画面が表示されます。アナログ A ポートに接続した機器を選択します。



電話機を接続しているポートは、[電話]を選びます。

ファクス、ファクス付き電話機、アナログモデムを接続しているポートは、[FAX/ モデム]を選びます。

何も接続していないポートには、[使用しない]を選びます。

ステップ 8

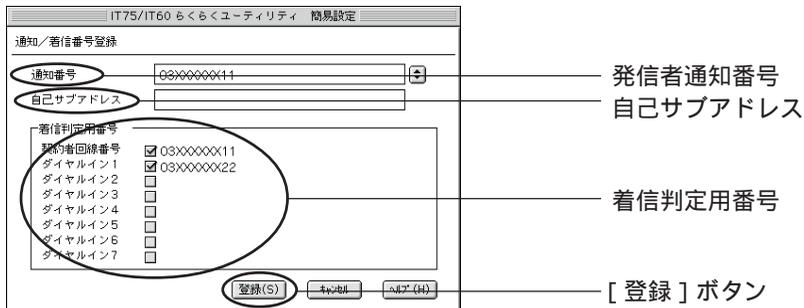
番号設定 ボタンをクリックします

[契約者回線番号またはダイヤルイン番号の場合]

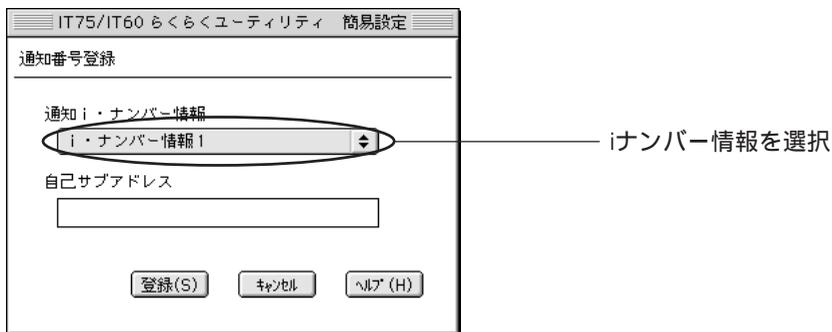
(発信者)通知番号は、自分から電話をかけたときに、相手に通知される電話番号を指定します。

着信判定用番号は、共通アドレス登録で登録した電話番号から をクリックして にして選択します。

図の例では、03XXXXXX11 と 03XXXXXX22 のいずれの電話番号への着信でも電話機の呼出音が鳴ります。



[i・ナンバーの場合]



相手に通知する電話番号を i・ナンバー情報 1,2 から選択します。

設定が終わったら、**登録** ボタンをクリックします。

[アナログ A ポート登録] 画面に戻ります。

ステップ9

[アナログ A ポート登録] 画面の **登録** ボタンをクリックします。

[らくらくユーティリティ簡易設定] 画面に戻ります。

ステップ10

[らくらくユーティリティ簡易設定] 画面のクローズボックスをクリックします



ステップ11

[設定値をAtermIT75/AtermIT60の不揮発性メモリに書き込みますか?]が表示されるので、**はい** ボタンをクリックします



[はい] ボタン

Atermの不揮発性メモリに設定内容が登録されます。

Atermの電源を切っても設定した内容が残ります。

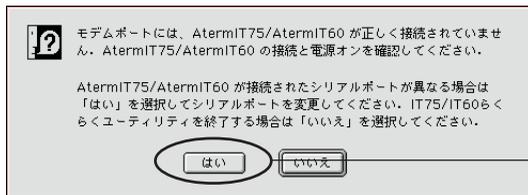
これで、らくらくユーティリティを使った基本的な設定は終了です。

[簡易設定]メニュー画面が表示されないとき

「モデムポートには、AtermIT75/AtermIT60が正しく接続されていません・・・」が表示されたとき

ステップ1

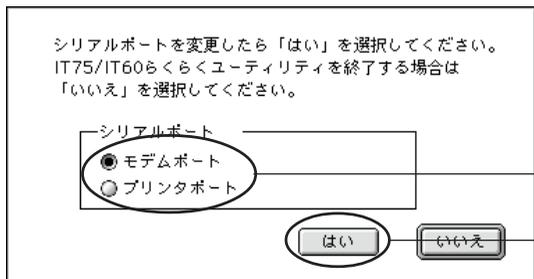
Atermの電源が入っていることと、Macintoshとの接続ケーブルが正しく接続されていることを確認して**はい** ボタンをクリックします



[はい] ボタン

ステップ2

Atermと接続しているMacintoshのシリアルポートを選び、**はい** ボタンをクリックします



シリアルポート
を選択

[はい] ボタン

インターネット接続に関する設定

OT-PPP(Open Transport PPP) の設定をする

インターネットの接続に必要な設定をおこないます。

- TCP/IP
 - モデム
 - PPP
- } の設定をします。

インターネットに接続するには、あらかじめプロバイダとの契約が必要です。

プロバイダからのユーザ情報設定等の資料をもとに設定していきます。

ここでは、Mac OS 7.6 以上に添付されている Open Transport PPP を使って接続をする場合の設定について説明します。

フリーウェアの「FreePPP」等を使って接続する場合の設定については、別冊の『お困りのときには』の「2. インターネットの手動設定のしかた」の2-3項をご覧ください。

	漢字Talk 7.5以上	Mac OS 7.6以上
TCP/IP ソフトウェア	Macintoshに添付のCD-ROMからカスタムインストールでインストールします。	Apple InternetスタートキットとOpen Transport PPPが添付されています。
PPP モジュール	雑誌などに添付のCD-ROMからFreePPP等のPPPモジュールを入手します。	

システムソフトウェアが漢字 Talk 7.5 以上の場合

- TCP/IPソフトウェアが添付されています。アップルメニューを開き、コントロールパネルの中にTCP/IPが入っていることを確認してください。入っていない場合は、Macintoshに添付のCD-ROMからTCP/IPソフトウェアをカスタムインストールしてください。
- PPPモジュールは、FreePPPがフリーソフトウェアとして入手しやすいので、雑誌などに添付されているCD-ROMから入手してください。
- Mac OS 7.6以上の場合OT-PPPが標準添付されています。アップルメニューのコントロールパネルの中にPPPが入っていないときは、Macintoshに添付のCD-ROMからカスタムインストールしてください。

システムソフトウェアがMac OS 8の場合

- CD-ROMの[CCLファイル]に入っているCCLファイルを、Macintosh[システム]フォルダの中の[機能拡張]フォルダにある[Modem scripts]フォルダに入れます。
同じ名前の古いファイルがある場合は、上書きをして入れ替えます。

Performa シリーズをお使いの方に

- コントロールパネルの機能拡張マネージャで[A/ROSE]のチェックマークをはずさないとソフトウェアが動作しない場合があります。
チェックのはずしかたは、Macintosh の取扱説明書をご覧ください。
- モデム内蔵の機種をお使いの場合は、コントロールパネルの機能拡張マネージャで内蔵モデム関係のチェックをはずさないと、モデムポートが働かない場合があります。詳細は、アップルカスタマーアシスタンスセンターにお問い合わせいただくか、モデムポートの代わりにプリンタポートをご使用ください。

TCP/IP の設定をする

プロバイダに接続するための条件などを設定します。

ステップ1

メニューバーのアップルマーク()をクリックし、[コントロールパネル] をクリックします

[コントロールパネル] 画面が表示されます。

ステップ2

[TCP/IP] アイコン  をダブルクリックします

TCP/IP

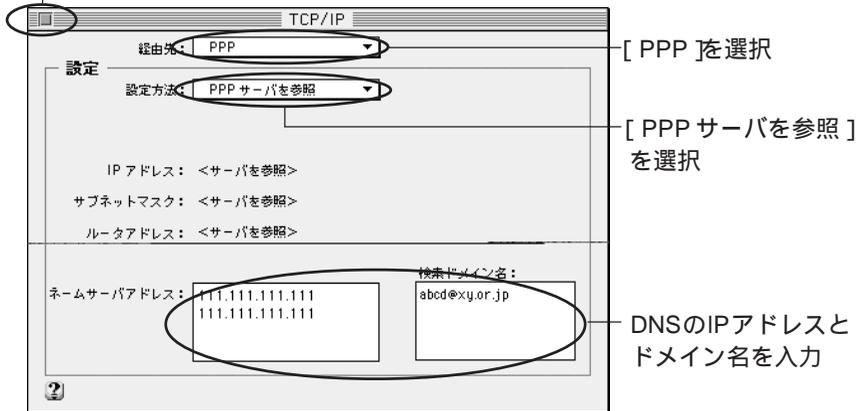
[TCP/IP] 画面が表示されます。

ステップ3

TCP/IP を設定します

- ① [経路先]のプルダウンメニューから[PPP]を選びます。
- ② [設定方法]のプルダウンメニューから[PPPサーバを参照]を選びます。
- ③ [ネームサーバーアドレス]欄にプロバイダからのユーザ情報等の資料を参照してDNSのIPアドレスを入力します。
一行目にプライマリを入力し、二行目にセカンダリを入力します。
[検索ドメイン名]欄にプロバイダからのユーザ情報等の資料を参照してドメイン名を入力します。
入力には半角英数字を使います。大文字、小文字の区別もプロバイダからのユーザ設定情報等の資料にあわせてください。

クローズボックス



ステップ4

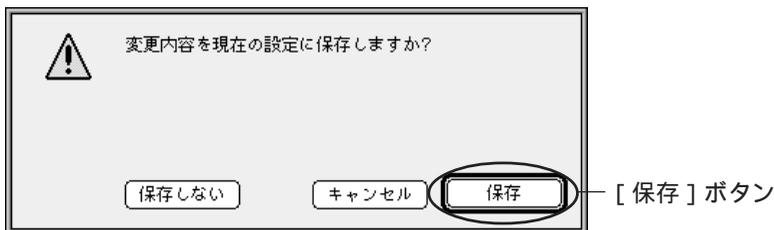
TCP/IPの設定が終了したら、[TCP/IP]画面のクローズボックスをクリックします

モデムの設定をしないときは、クローズボックスをクリックしてコントロールパネルを閉じます。

ステップ5

保存 ボタンをクリックします

TCP/IP の設定が終了しました。

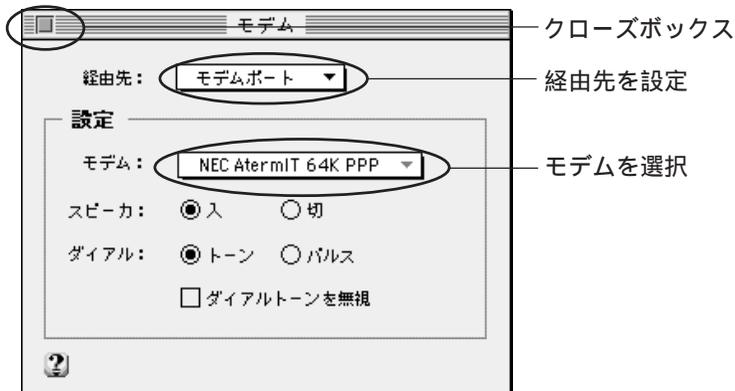


[保存] ボタン

モデムの設定をする

- ステップ1 メニューバーの [コントロールパネル] を選択し、[コントロールパネル] の中の [モデム] アイコンをダブルクリックします

[モデム] 画面が表示されます。



- ステップ2 [経路先] のプルダウンメニューから [モデムポート] を選びます

Macintosh のプリンタポートに Aterm を接続しているときは、[プリンタポート] を選びます。

- ステップ3 [モデム] のプルダウンメニューからモデムの種類を選びます

インターネットプロバイダのアクセスポイント接続条件によって選ぶモデムが異なります。

プロバイダからのユーザ設定情報等の資料を参照して設定してください。

アクセスポイントの条件	モデム
非同期 57.6K	NEC AtermIT 57.6K
同期 128K	NEC AtermIT MP
同期 64K	NEC AtermIT 64KPPP
PIAFS 32K	NEC AtermIT 32KPIAFS
PIAFS 64K	NEC AtermIT 64KPIAFS

- ステップ4 設定が終了したら、クローズボックスをクリックします

- ステップ5 **保存** ボタンをクリックします

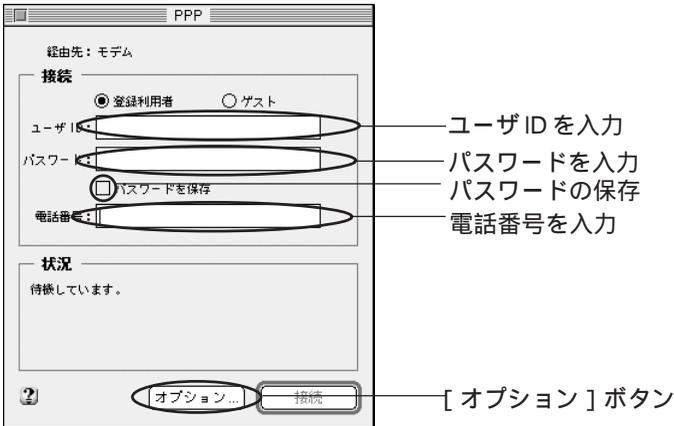
モデムの設定が終了しました。

PPP の設定をする

ステップ1

メニューバーのアップルマーク()をクリックし、[コントロールパネル]の中の[PPP]を開きます

[PPP]画面が表示されます。



ステップ2

[PPP]の設定をします

- ① [登録利用者]が になっていることを確認します。

[登録利用者]が になっていないときは、クリックして にします。

- ② [ユーザID]欄にユーザIDを入力します。

プロバイダからのユーザ情報等の資料を参照して入力してください。入力するには、半角英文字を使います。大文字、小文字の区別もプロバイダからのユーザ情報等の資料にあわせてください。

- ③ [パスワード]欄にパスワードを入力します。

プロバイダからのユーザ情報等の資料を参照して入力してください。入力には、半角英文字を使います。大文字、小文字の区別もプロバイダからのユーザ情報等の資料にあわせてください。

- ④ [パスワードを保存]にチェックマークをクリックして にします。

チェックマークを にしておくと、次回以降パスワードを入力する必要がなくなります。

- ⑤ [電話番号]欄にプロバイダの最寄りのアクセスポイントの電話番号を入力します。

入力には半角数字を使います。

ステップ3

設定が終了したら **オプション** ボタンをクリックします

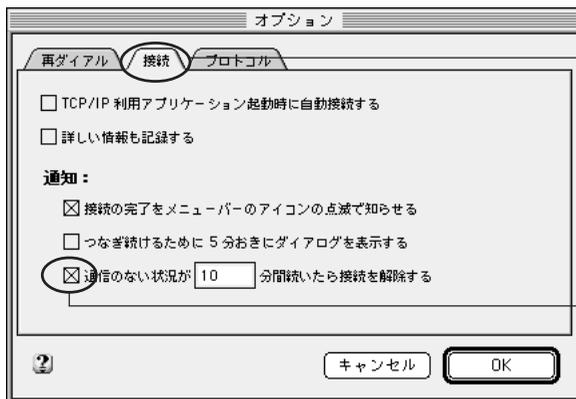
[オプション]画面が表示されます。

ステップ4

[オプション]画面の[接続]タグをクリックします

[通信のない状況が 10 分間続いたら接続を解除する]の欄のチェックマークが になっていることを確認します。

になっていないときは、クリックしてチェックマークを にします。

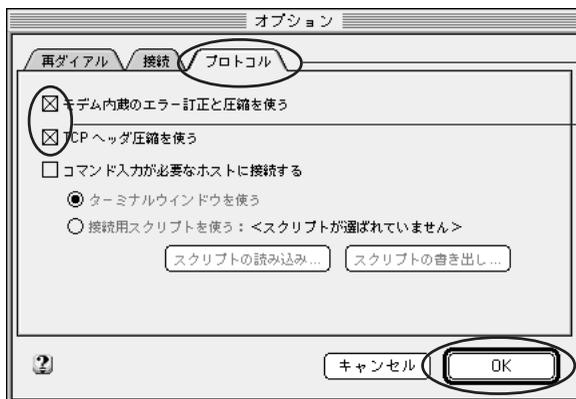


[接続] タグ

[通信のない状況が 10 分間続いたら接続を解除する] のチェックボックス

ステップ5

[オプション]画面の[プロトコル]タグをクリックします



[プロトコル] タグ

[モデム内蔵のエラー訂正と圧縮を使う] と [TCP ヘッダ圧縮を使う] のチェックボックス

[OK] ボタン

[モデム内蔵のエラー訂正と圧縮を使う]、[TCPヘッダ圧縮を使う]の欄のチェックマークが になっていることを確認します。

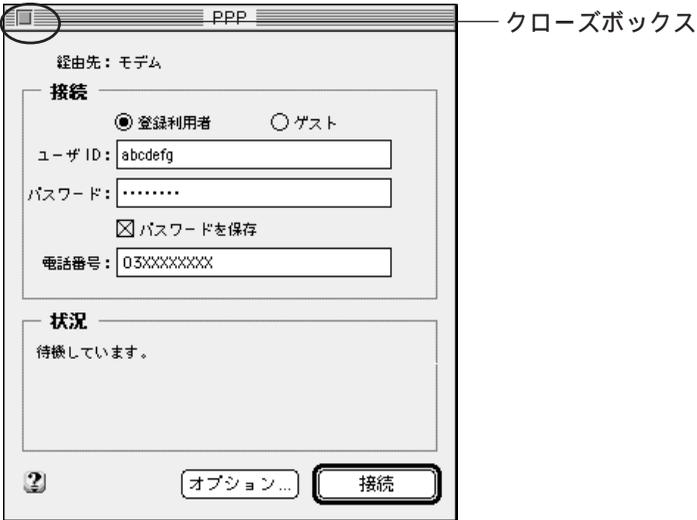
になっていないときは、クリックしてチェックマークを にします。

ステップ6

[オプション]画面の **OK** ボタンをクリックします
[PPP]画面に戻ります。

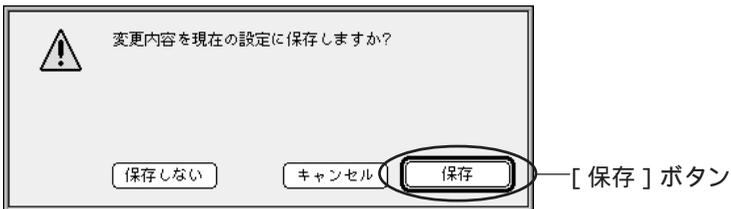
ステップ7

[PPP]画面のクローズボックスをクリックします



ステップ8

保存 ボタンをクリックします
[PPP]の設定が終了しました。



インターネットへ接続する

プロバイダとの接続を確認する

ここでは実際にプロバイダのアクセスポイントに電話をかけてインターネットに接続します。

ステップ1

メニューバーのアップルマーク()をクリックし、[コントロールパネル]の中の[PPP]を開きます
[PPP]画面が表示されます。

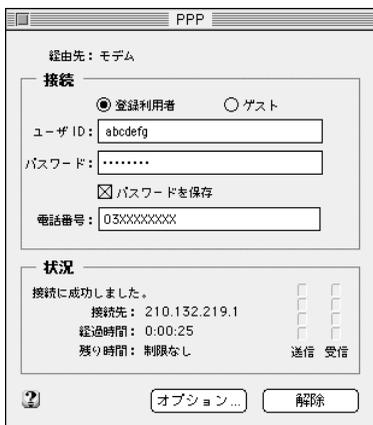
ステップ2

接続 ボタンをクリックします



パソコンからプロバイダに電話をかけ、つながると[ユーザ名]と[パスワード]の確認がおこなわれます。確認が終了するとプロバイダのホストコンピュータに接続されます。

[PPP]画面はつぎのようになります。



ステップ3

ブラウザソフトを起動します

「インターネットエクスプローラ」や「ネットスケープナビゲータ」などのアイコンをダブルクリックします。

ステップ4

見たいホームページのアドレス(URL)(たとえばhttp://aterm.cplaza.ne.jp)を入力し、リターンキーを押します

ホームページを見ることができます。



Atermをお買い上げいただいたお客様を対象にユーザ登録をおこなっています。

登録していただいたお客様には、Atermをご使用のお客様へのサービスの一環といたしまして、電子メールによる新製品情報、バージョンアップの案内を中心に、さまざまな情報提供やキャンペーン、イベントなどの特典・サービスを提供して参ります。是非ユーザ登録をおこなってください。

登録はインターネットホームページ「AtermStation」にておこなっています。

事前にご用意いただくもの

1. Aterm本体（機種名、製造番号）
2. 電子メールアドレス（最も一般的に使用しているアドレス）
3. Atermを使用するISDN回線の契約者番号

接続を切断するとき

ステップ1 見終わったら、ファイルメニューから[終了]を選んでブラウザソフトを終了します

ステップ2 [PPP]画面の[解除]ボタンをクリックしてから、クローズボックスをクリックします

解除 ボタンをクリックしないと、ブラウザソフトを終了しても電話はつながったままになっています。

インターネットの接続をやめるときは、必ず **解除** ボタンをクリックしてください。



インターネットの接続が切断されます。

通信回線が正常に切断されると、Atermの液晶ディスプレイに「データセツダン」が約20秒間表示されます。

注意!

解除 ボタンをクリックしてもAtermの液晶ディスプレイにデータ通信中のピクトグラム( B1B2)のどちらかが表示されているときは、通信回線がつながったままになっています。そのまま放置すると通信費用がかかり続けます。このようなときは、AtermとINSネット64を接続している回線ケーブルを一度抜いて通信回線を強制的に切断してください。回線ケーブルを抜くとAtermのすべての通信が切断されるので、他の機器が通信(通話)中ではないことを確認してから回線ケーブルを抜いてください。

参考

AtermのUSBポートまたはデータポートでは自動発信をする場合、通信相手が話し中のときには再発信の回数は最初の発信から3分間で2回以内に制限しています。この制限をこえる再発信は受付けません。

3-2. 電話機から設定する(らくらくテレホン設定)

(1) 日付・時刻を設定する

Atermの液晶ディスプレイに表示する月、日、時、分の設定をおこないます。Atermの液晶ディスプレイを見ながら、接続した電話機で操作してください。

ステップ1

受話器をあげます
接続してある電話機のどれからでも設定
できます。

Atermの液晶ディスプレイ

1月 1日 0:00

ステップ2

【*】【*】【1】【*】と押します

セッテイホ° ートセンタク

ステップ3

【9】を押します

ジ° コク セッテイ

ステップ4

【*】を押します

98年01月01日
00:00

ステップ5

年、月、日、時、分の順に入力します
年は、西暦の下2桁を入力します。
月、日、時、分、が1桁の場合は、0も入力します。
例：1998年12月1日10時10分の場合
【9】【8】【1】【2】【0】【1】【1】【0】【1】【0】と入力します。
【*】を押すと入力場所がスキップします。

ステップ6

【#】を押します

98年12月01日
10:10

5秒後



ステップ7

受話器を置きます

入力の途中で受話器を置くと設定が
キャンセルされます。

12月 1日 10:10



参考

カレンダーの代わりに機種名を表示させることができます。

受話器をあげて次の操作をします。

「カレンダー」を表示させる場合
【*】【*】【8】【1】【1】を押します。

「機種名」を表示させる場合
【*】【*】【8】【1】【0】を押します。

Atermの液晶ディスプレイ

アイト° ルヒョウジ°
1:トケイ

アイト° ルヒョウジ°
0:Aterm

(2) 使用ポートと接続機器を設定する

各アナログポートに接続している機器の種類を設定します。

なにも接続しないアナログポートは、必ず「使用しない」に設定してください。

ステップ1 受話器をあげます

接続してある電話機のどれからでも設定
できます。

Atermの液晶ディスプレイ


1 2月 1日 10:10

ステップ2 【*】【*】【1】【*】を押します


セッテイポ[°]ートセンタク

注意!

「ポートシヨウチュウ セッテイフカ」と表示されたときは、通話中または通信中で設定ができません。通話や通信を終わらせてから再度操作してください。

ステップ3 設定するポート番号を押します

アナログAポート 【1】を押す
アナログBポート 【2】を押す
アナログCポート 【3】を押す


アナログ[°] A ニセッテイ

【1】を押したとき

ステップ4 【*】【0】【1】【*】 と押します


アナログ[°] ソウチ
0: デ[°]ンワ

ステップ5 接続している機器の番号を押します

電話機 【0】を押す
ファクスまたはファクス付電話機、モデム
【1】を押す
機器を接続しない 【2】を押す


アナログ[°] ソウチ
0: デ[°]ンワ

【0】を押したとき

表示している内容を変更しないときは、ステップ6へ進んで下さい。

ステップ6 【#】を押します


セッテイポ[°]ートセンタク

他のポートを設定するためには、ステップ3からの操作をくり返してください。

ステップ7 【#】を押します

これで設定は終了しました。


セッテイシマシタ

ステップ8 受話器を置きます

約5秒間表示します

(3) 発信者通知番号を設定する

① i・ナンバー契約の場合

電話をかけたときに相手に通知するi・ナンバー電話番号(発信者通知番号)を各アナログポートで設定します。

i・ナンバーを契約していない方は、設定の必要はありません。

Atermの液晶ディスプレイ

ステップ1

受話器をあげます

接続してある電話機のどれからでも設定
できます。

12月 1日 10:10

ステップ2

【*】【*】【1】【*】と押します

セッテイポ ートセンタク

ステップ3

設定するポート番号を押します

アナログAポート 【1】を押す
アナログBポート 【2】を押す
アナログCポート 【3】を押す

アナログ B ニセッテイ

【2】を押したとき

ステップ4

【*】【9】【5】と押します

ハツi・ナンバ ー
No. 1

ステップ5

設定値を入力する/しないを選択します

設定値を入力する場合は、【*】を押します。表示されている設定値を変更しない場合は、ここで【*】を押さずにステップ7へ進んでください。

ステップ6

通知する発信番号(i・ナンバー情報)を押します

i・ナンバー情報1 【1】を押す
i・ナンバー情報2 【2】を押す

ステップ7

【#】を押します

セッテイポ ートセンタク

他のポートを設定するためには、ステップ3からの操作をくり返してください。

ステップ8

【#】を押します

これで設定は終了しました。

セッテイシマシタ

ステップ9

受話器を置きます

約5秒間表示します

② ダイヤルインサービス契約の場合

電話をかけたときに相手に通知する電話番号（発信者通知番号）を各アナログポートで設定します。

ステップ1

受話器をあげます

接続してある電話機のどれからでも設定
できます。

Atermの液晶ディスプレイ


1 2月 1日 10:10

ステップ2

【*】【*】【1】【*】と押します


セッテイホ° ートセンタク

ステップ3

設定するポート番号を押します

アナログAポート 【1】を押す
アナログBポート 【2】を押す
アナログCポート 【3】を押す


アナログ° B ニセッテイ

【2】を押したとき

ステップ4

【*】【9】【2】と押します

ステップ5

設定値を入力する／しないを選択します

設定値を入力する場合は、【*】を押します。

表示されている設定値を変更しない場合は、ここで【*】を押さずにステップ7へ進んでください。

ステップ6

電話番号を押します

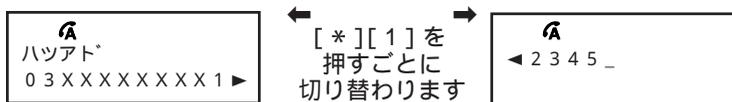
例：03-1234-5678のときは、
0312345678 と押します。


ハツアト°
0 3 1 2 3 4 5 6 7 8 _



- ・電話番号を間違えて入力したとき
[*][*] を押すと、入力した最後尾の 1 文字を削除できます。
- ・12 桁以上の番号を入力したとき
12 桁目を入力すると、先頭に ◀ が付いて画面が切り替わります。
この状態で [*][1] を押すと、末尾に ▶ が付き、1 桁目から 11 桁目までの表示に戻ります。
もう一度 [*][1] を押すと、12 桁目を入力したときの画面に戻ります。

例．電話番号：03XXXXXXXX12345



ステップ7

【#】を押します

ハット*
セッテイポ ートセンタク

他のポートを設定するためには、ステップ3からの操作をくり返してください。

ステップ8

【#】を押します

これで設定は終了しました。

ハット*
セッテイシマシタ

約 5 秒間表示します

ステップ9

受話器を置きます

(4) アナログポートを別々の電話番号で呼び分ける

① i・ナンバー契約の場合

(1) ~ (3) 項を順番に設定してください。

(1) 電話番号を登録する

INSネット64で契約している電話番号(i・ナンバー情報)を登録します。登録した電話番号は、「(2)呼び出す電話番号(i・ナンバー)を割り当てる」(☞3-46ページ)で各ポートの割り当てをおこないます。

ステップ1 受話器をあげます

接続してある電話機のどれからでも設定
できます。

Atermの液晶ディスプレイ

 12月 1日 10:10

ステップ2 【*】【*】【1】【*】と押します

 セッテイホ^oートセンタク

ステップ3 【5】を押します

 キョウツウ セッテイ 2

ステップ4 【*】【9】【0】【1】と押します

(【1】には、i・ナンバー情報1を登録します。)

i・ナンバー情報2を登録するには、【1】部分を【2】と変更します。

ステップ5 【*】【電話番号】を押します

例：03-1234-5678 のときは、
0312345678 と押します。

 デ^oンワバ^oンゴ^oウ1:
0312345678_

表示されている電話番号を変更しない場合は、ここで【*】を押さずに
【#】を押します ステップ6の操作をしたことになります。

間違えて入力したときは、「参考」を参照してください。☞ 3-43 ページ

ステップ6

【#】を押します

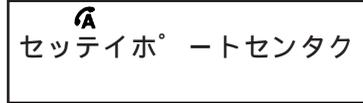
内線指定番号は、アナログ・ダイヤルインで使用します。ここではアナログ・ダイヤルインの設定をおこなわないため入力しません。



i・ナイセンシテイ 1 :

ステップ7

【#】を押します



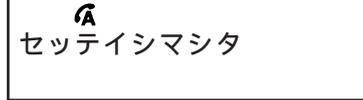
セッテイポ ートセンタク

他のi・ナンバーを設定するためには、ステップ3からの操作をくり返してください。

ステップ8

【#】を押します

これで設定は終了しました。



セッテイシマシタ

約5秒間表示します

ステップ9

受話器を置きます

(2) 呼び出す電話番号(i・ナンバー)を割り当てる

かかってきた電話番号(i・ナンバー情報)でどのアナログポートの呼出音を鳴らすかを設定します。1つのポートに2個の電話番号(i・ナンバー情報)を割り当てることができます。

Atermの液晶ディスプレイ

ステップ1 受話器をあげます

接続してある電話機のどれからでも設定
できます。


12月 1日 10:10

ステップ2 【*】【*】【1】【*】と押します


セッテイホ° ートセンタク

ステップ3 設定するポート番号を押します

アナログAポート 【1】を押す
アナログBポート 【2】を押す
アナログCポート 【3】を押す


アナログ` A ニセッテイ

【1】を押したとき

ステップ4 【*】【9】【4】と押します


チャク i・ナンバ` -
No. 1

ステップ5 【*】を押します


チャク i・ナンバ` -
No. _

ステップ6 着信するi・ナンバー情報を押します

i・ナンバー情報 1 【1】を押す
i・ナンバー情報 2 【2】を押す


チャク i・ナンバ` -
No. 1, _

ステップ7 【#】を押します


セッテイホ° ートセンタク

他のポートを設定するためには、ステップ3からの操作をくり返してください。

ステップ8 【#】を押します

これで設定は終了しました。


セッテイシマシタ

ステップ9 受話器を置きます

約5秒間表示します

(3) i・ナンバー着信選択を設定する

i・ナンバー情報を「i・ナンバーを使用する」に設定します。

ステップ1 受話器をあげます
接続してある電話機のどれからでも設定
できます。

ステップ2 【*】【*】【1】【*】と押します

ステップ3 【4】を押します

ステップ4 【*】【7】【6】【*】と押します

ステップ5 i・ナンバーを使用する / しないを
設定します

使用しない : 【0】を押す

使用する : 【1】を押す

ステップ6 【#】を押します

ステップ7 【#】を押します

これで設定は終了しました。

ステップ8 受話器を置きます

Aterm の液晶ディスプレイ


1 2月 1日 10:10


セッテイホートセンタク


キョウツウ セッテイ 1


i・ナンバ -
0:シナイ


i・ナンバ -
1:スル
【1】を押したとき


セッテイホートセンタク


セッテイシマシタ

約5秒間表示します

② ダイヤルインサービス契約の場合

(1) ~ (3) 項を順番に設定してください。

(1) 電話番号を登録する

INS ネット 64 で契約している電話番号をリスト 0 ~ 7 に登録します。登録したリスト (電話番号) は、「(2) 呼び出す電話番号 (ダイヤルイン番号) を割り当てる」(☞3-50 ページ)で各ポートに割り当てをおこないます。

ステップ1

受話器をあげます

接続してある電話機のどれからでも設定
できます。

Atermの液晶ディスプレイ

A
1 2 月 1 日 1 0 : 1 0

ステップ2

【*】【*】【1】【*】と押します

A
セッテイホ° ートセンタク

ステップ3

【4】を押します

A
キョウツウ セッテイ 1

ステップ4

【*】【8】【0】と押します

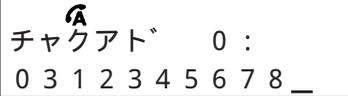
(【0】には、契約者回線番号を登録します。)

【0】部分を [0] ~ [7] と変更すれば、[0] ~ [7] それぞれに1つの電話番号が設定でき、最大8個まで登録できます。

[0] ~ [7] の番号は、「(2) 呼び出す電話番号 (ダイヤルイン番号) を割り当てる」(☞3-50 ページ)で使用します。

ステップ5

【*】【電話番号】を押します

例：03-1234-5678 のときは、
0312345678 と押します。

 チャクアド 0 :
0 3 1 2 3 4 5 6 7 8 _

表示されている電話番号を変更しない場合は、ここで【*】を押さずに【#】を押す ステップ6 の操作をしたことになります。
間違えて入力したときは、「参考」を参照してください。☞ 3-43 ページ

ステップ6

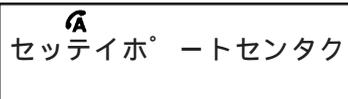
【#】を押します

内線指定番号は、アナログ・ダイヤルインで使用します。ここではアナログ・ダイヤルインの設定をおこなわないため入力しません。


 ナイセンシテイ 0 :
—

ステップ7

【#】を押します

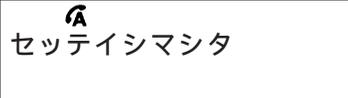

 セッテイホ ートセンタク
—

他のダイヤルイン番号を設定するためには、ステップ3からの操作をくり返してください。

ステップ8

【#】を押します

これで設定は終了しました。


 セッテイシマシタ
—

約 5 秒間表示します

ステップ9

受話器を置きます

(2) 呼び出す電話番号(ダイヤルイン番号)を割り当てる

かかってきた電話番号でどのアナログポートの呼出音を鳴らすかを設定します。最大8個の電話番号を割り当てることができます。

ステップ1

受話器をあげます

接続してある電話機のどれからでも設定
できます。

Atermの液晶ディスプレイ


12月 1日 10:10

ステップ2

【*】【*】【1】【*】と押します


セッテイホ° ートセンタク

ステップ3

設定するポート番号を押します

アナログAポート 【1】を押す
アナログBポート 【2】を押す
アナログCポート 【3】を押す


アナログ° A ニセッテイ

【1】を押したとき

ステップ4

【*】【9】【1】と押します


チャクアト° 0 ケン

ステップ5

【*】を押します


チャクアト° 0 :
XXXXXXXXXXXX

表示されている設定値を変更しない場合は、ここで【*】を押さずに【#】を押します。ステップ7の操作をしたことになります。

ステップ6

表示されている電話番号を設定しているアナログポートに割り当てるかどうかを選択します

割り当てる場合は、【0】を押します。

割り当てない場合は、【3】を押すたびに次の番号が表示されるので割り当てる電話番号を表示してから【0】を押します。

割り当てられた場合は、番号の右に  が表示されます。


チャクアド° 0 :
X X X X X X X X X X


チャクアド° 0 :
X X X X X X X X X X



参考

ここでは、次のコマンドが使用できます。

- 0 : 電話番号を割り当てる / 割り当てない切替
- 1 : 表示されてる電話番号の続きをみる
- 2 : 割り当て状況をみる
- 3 : 次の電話番号をみる
- 4 : 前の電話番号をみる

ステップ7

【#】を押します


セッテイホ° ートセンタク

他のダイヤルイン番号の割り当てを設定するためには、ステップ3からの操作をくり返してください。

ステップ8

【#】を押します

これで設定は終了しました。


セッテイシマシタ

ステップ9

受話器を置きます

約5秒間表示します

(3) グローバル着信選択を設定する

契約者回線番号を設定したアナログポートを「グローバル着信を利用する」に設定し、その他のポートを「グローバル着信を利用しない」に設定します。

ステップ1

受話器をあげます

接続してある電話機のどれからでも設定
できます。

Atermの液晶ディスプレイ



1 2月 1日 10:10

ステップ2

【*】【*】【1】【*】と押します



セッテイホ^oートセンタク

ステップ3

設定するポート番号を押します

アナログAポート 【1】を押す
アナログBポート 【2】を押す
アナログCポート 【3】を押す



アナログ^o A ニセッテイ

【1】を押したとき

ステップ4

【*】【0】【5】【*】と押します



グローハ^oルチャクシン
0:スル

ステップ5

グローバル着信を利用する/しないを設定
します

利用する :【0】を押す
利用しない:【1】を押す



グローハ^oルチャクシン
0:スル

【0】を押したとき

ステップ6

【#】を押します



セッテイホ^oートセンタク

他のポートを設定するためには、ステップ3からの操作をくり返してください。

ステップ7

【#】を押します

これで設定は終了しました。

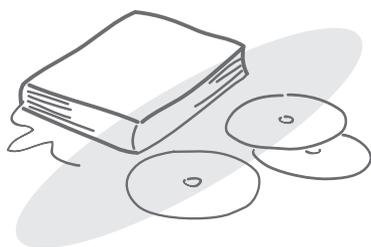


セッテイシマシタ

ステップ8

受話器を置きます

約5秒間表示します



4 付録

INS ネット 64 のお申し込みと停電時に Aterm を
使えるようにするための方法について説明します。

4-1. INS ネット 64 のお申し込み

最寄りのINSネット64の窓口で、INSネット64の加入手続きをしてください。手続きの詳細につきましては、INSネット64の窓口にご相談ください。

INSネット64お申込票の記入のしかた

- | | |
|---------------------------|--------------------------------------|
| ① お申込年月日 | お申込票を提出される日を記入します。 |
| ② ご記入者 | お申込者の名前と電話番号を記入します。 |
| ③ ご利用開始希望日 | 工事を希望される年月日を記入します。 |
| ④ お申込回線数 | お申し込みをおこなう回線数を記入します。 |
| ⑤ お申込者 | 住民票・登記簿上の名前を記入します。 |
| ⑥ お申込者ご住所 | 住民票・登記簿上の住所を記入します。 |
| ⑦ INSネットをご利用になる場所 | INSネットを利用する場所の詳細を記入します。 |
| ⑧ お客様のご連絡先 | 個人で申し込む場合は、3箇所とも「申込者」で
まいません。 |
| ⑨ 毎月の請求書の送付先 | 送付される請求書の送付先を選択または記入します。 |
| ⑩ 契約料・施設設置料負担金
のお支払い方法 | 各料金の支払い方法を選択または記入します。 |
| ⑪ 工事料金のお支払い方法 | |
| ⑫ 通信機器代金のお支払い方法 | |
| ⑬ 電話帳へお載せするお名前 | 電話帳への掲載名を記入します。載せない場合は、
「不要」とします。 |

接続する通信機器

- 通信機器の名称
AtermIT75/Dは「PC-IT75D1A」を記入します。
AtermIT75は「PC-IT75S1A」を記入します。
AtermIT60/Dは「PC-IT60D1A」を記入します。
AtermIT60/D[S]は「PC-IT60D1A[S]」を記入します。
- メーカー名
NEC
- 数量
台数を記入します。
- 機器工事
お客様 をチェックします。
- 認定番号
T98-5109-0
U98-0105-0
N98-0055-0をすべて記入します。

AtermIT75/D、AtermIT60/DまたはAtermIT60/D[S]の場合は、DSU折り返し機能有をチェックします。

配線工事等

● 屋内配線

お客様宅の保安器から壁のモジュラコンセントまでの工事です。

NTT 工事(レンタル) NTT 工事(お買い上げ) のいずれかをチェックします。

● 回線接続装置 DSU、TPC-14D ヒモ、接続用コネクタ、機器配線

お客様のご使用形態に合わせてお選びください。

コンサルティング項目 * * * 必須項目 * * *

● インタフェース形態及びレイヤ 1 起動種別

P-MP 常時を推奨します。

● 発信者番号通知サービス

通常通知(通話ごと非通知)を推奨します。初期状態で Aterm は「INS ネット 64 申込内容に従う」に設定されているため、発信者番号を通知ようになります。通知したくない場合は、IT75/IT60 らしくユーティリティや AT コマンドで「通知しない」に設定します。

● ユーザ間情報通知サービス

着信許可をチェックします。チェックしない場合、電子メール着信通知、UII メール、ユーザ間情報通知の機能が利用できなくなります。

コンサルティング項目 * * * 付加機能等項目 * * *

● ダイヤルインサービス

Aterm のグローバル着信機能を利用して、アナログポートを電話番号で呼び分けたいときには契約します。付加機能受付票でダイヤルインサービス追加番号数を記入し、グローバル着信利用をチェックします。

● フレックスホン

コールウェイティングや着信転送等を利用する場合にチェックします。このとき、あわせて付加機能受付票のフレックスホンの該当する項目をチェックします。

● 通信中着信通知サービスをチェックします。チェックしない場合、データ通信で、リソース BOD の着信、電子メール着信通知、UII メール の着信ができなくなります。また、コールウェイティングを契約する場合には、併せてチェックします。

● 解約されるサービスまたは復活される INS ネット

お使いの加入電話から INS ネットに移行される場合は、

加入電話、 利用中、 をチェックし、電話番号を記入します。



i・ナンバーに関しては、INS ネット 64 の窓口にご相談ください。

4-2. 停電時に Aterm を使うために

Aterm は停電したときでも通話ができる機能（停電モード）を有しています。

停電時に使えるのは

アナログ A ポートに接続されている電話機などの機器と、データポートまたは USB ポートに接続された機器（停電時動作可能な機器）です。
電子メール着信通知や遊遊メール、UUI メールでもご利用できます。
S 点ユニットの S/T 点にも給電します。

電池の連続動作可能時間の目安

アナログ A ポート利用の場合

	連続待ち受け時間	連続通話時間
ニカド電池パックを十分に充電してある場合	約 1 時間	約 30 分
新しい単 3 アルカリ乾電池の場合	約 8 時間	約 4 時間

- アナログ B ポート、C ポートに接続した電話機の手話器をあげると時間が短くなりますので、手話器は置いたままにしてください。
- S 点ユニット、データポートまたは USB ポートに接続された機器によって、時間が短くなりますので、必要な機器以外は Aterm からはずしてください。

設定のしかた

ステップ1 電源スイッチがオフ（○ が押された状態）になっていることを確認します

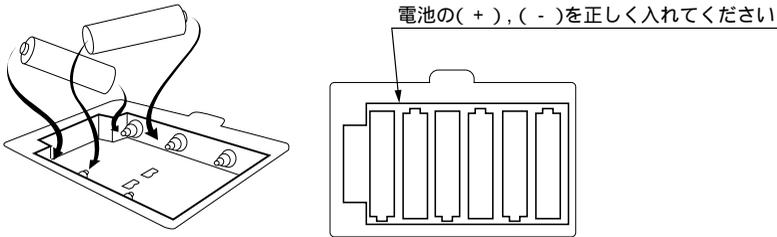
ステップ2 電池カバーを開けます

ステップ3 電池を入れます

別売のニカド電池パック（1 セット 2 個入り）または単 3 アルカリ乾電池（6 本）のどちらか 1 種類の電池を入れます。

単 3 アルカリ乾電池の場合

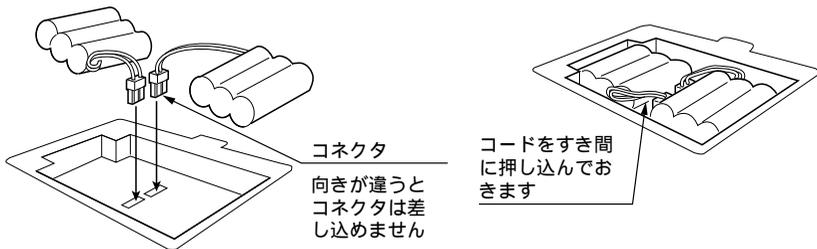
市販の単 3 アルカリ乾電池（6 本）をご用意ください。
電池の極性に注意して、電池ホルダーに入れます。



ニカド電池パックの場合

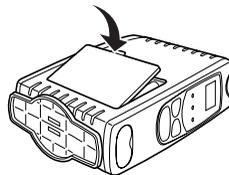
ニカド電池パックは、別売の次のものをご使用ください。
「AtermIT 用 Ni-Cd バッテリパック (PC-IT/B01)」

ニカド電池パック（2 個）を、下図のように先にコネクタに差し込んでから本体にはめ込んでください。



ニカド電池パックは、ご購入時には充電されておられません。充電は、Aterm にセットし電源を入れると約 2 日間で完了します。この充電の完了までの間に停電があると、停電モードに切り替わらなかつたり、使用時間が短くなることがありますのでご注意ください。停電時にニカド電池で動作中、電池は消耗しますが停電の復旧後は自動的に充電されます。ニカド電池パックは本体にセットしたままお使いください。

ステップ 4 電池カバーを閉じます



ステップ 5 Aterm の電源スイッチをオン（「I」が押された状態）にします

ニカド電池パックの寿命と交換について

- ニカド電池パックを充電しても、停電モード使用中に動作が不安定になるようでしたら寿命ですので、新しい電池パックと交換してください。
- ニカド電池パックの寿命は、通常のご使用で約2年間です。停電時の動作用ですので、早めの交換をおすすめします。
- ニカド電池パックの電池がなくなっても、単3アルカリ乾電池と交換することにより、停電モードがご使用になれます。



注意!

- 電池を入れてご使用になる場合は、特に直射日光、高温、高湿の場所を避けてご使用ください。
- 電池を入れた側を発熱する機器の近くに置かないでください。
- ご使用の電池の注意をよく守ってご使用ください。



参考

電池装着時及び3ヶ月に1回程度、電池カバーを開けて電池の外観の点検をおこなうことを推奨します。

⚠ 警告

禁止事項について

本装置の安全性の劣化につながる使用の禁止

ニカド電池コネクタの充電端子を金属でショートさせないでください。火災・故障の原因となります。また、充電端子に水滴のついたまま充電しないでください。火災・故障の原因となります。



⚠ 危険

ニカド電池パックご使用時の注意

電池パックを使用する場合は、次のことを必ず守ってください。電池パックを漏液、発熱、破裂させる原因となります。

- ・ 充電は、Aterm 以外ではおこなわないでください。
- ・ 電池パックは、コネクタの向きが決まっています。Aterm に接続するときは、コネクタの向きを確かめて正しく差し込んでください。
- ・ 電池パックを単体では充電しないでください。
- ・ 専用の電池パックを使用してください。また、専用の電池パックは他の機器には使用しないでください。
- ・ 火の中に投入したり、加熱しないでください。
- ・ 直接はんだ付けをしないでください。
- ・ 電池パックを分解、改造しないでください。
- ・ 電池パックを金属製品と一緒に持ち運んだり保管したりしないでください。
- ・ 電池パックのコードはショートさせないように注意してください。また、プラスとマイナスを針金などの金属類で接続しないでください。



電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずに、すぐにきれいな水で充分洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

使用済みのニカド電池について

Aterm を破棄する場合は、ニカド電池パックを取り出してください。

取り出したニカド電池パックおよび寿命に達して交換したニカド電池パックは、貴重な資源ですので、Aterm またはニカド電池パックをお買い上げの販売店、もしくはお近くのニカド電池リサイクル協力店にお持ちください。



Ni-Cd

5 索引

数字・記号

- 25 ビン変換コネクタ 1-12
- 64k・128k 通信 3-16

A

- AT コマンド 1-3
- AtermStation 3-21, 3-37

B

- BIGLOBE 1-11, 3-13, 3-14

C

- CD-ROM 1-12

D

- DSU 1-7, 2-7, 2-8

E

- ENTER ボタン 1-14

F

- FreePPP 3-29

I

- INS 回線ケーブル 1-13
- INS 回線コネクタ 1-16
- INS 回線リパーススイッチ 1-16, 2-12
- INS ネット 64 のダイヤルインサービス ... 1-9
- i・ナンバー 1-8, 3-9, 3-25
3-41, 3-44 ~ 3-47
- i・ナンバー情報 1-8, 3-25
3-41, 3-44 ~ 3-47
- INS ネット 64 のお申し込み 1-7, 4-2
- INS ネット 64 の接続 2-3, 2-5, 2-7
- IT75/IT60
らくらくウィザード 1-3, 1-11, 3-2
- IT75/IT60
らくらくユーティリティ 1-3, 3-18, 3-23

M

- Macintosh 1-6, 3-23
- Mac OS 3-29
- Mac 変換ケーブル 1-12
- MENU ボタン 1-14
- MSG (MESSAGE) ランプ 1-14

N

- Ni-Cd 電池 1-18, 4-6

O

- OS 3-29
- OT-PPP (Open Transport PPP) 3-29

P

Performa シリーズ	3-29
PPP	3-29, 3-33
PWR (POWER) ランプ	1-13

R

RS-232C ケーブル	2-5, 2-10
--------------------	-----------

S

SELECT ボタン	1-14
SD/RD ランプ	1-14
S/T 回線コネクタ	1-16
S 点ユニット	1-17
S バスケーブル	1-13, 2-8

T

TA	1-7
TCP-IP	3-29, 3-30

U

URL	3-21, 3-37
USB ケーブル	1-12, 2-3, 2-9
USB ドライバ	3-6
USB ポート	1-5, 1-14, 1-16, 2-3, 2-9

W

Windows95	1-5, 3-2
Windows98	1-5, 3-2

ア～オ

アース	1-16, 2-2, 2-4, 2-11
アウトLOOKエクスプレス	1-11
アクセスポイント ...	1-11, 3-14, 3-20, 3-22
アナログポート	1-16, 2-6, 3-8 3-26, 3-40, 3-44
インストール	3-2, 3-23
インターネット	1-11, 3-13, 3-20, 3-29
インターネット エクスプローラ	1-11, 3-21, 3-37
液晶ディスプレイ	1-14
絵文字	1-15
オンラインサインアップ	1-5, 1-11, 3-14

カ～コ

カイセンショウガイ	2-12
各部の名称	1-14
雷防護アダプタ	2-3, 2-4
カレンダー	3-18, 3-39
漢字トーク	3-29
グローバル着信	1-9, 1-10, 3-10, 3-52
契約者回線番号	1-9, 3-10, 3-25
コンセント	1-7, 2-3, 2-5, 2-7, 2-12

サ～ソ

終端抵抗	2-8
終端抵抗切替スイッチ	1-16, 2-8
接続	2-6 ~ 2-11
接続図	2-2 ~ 2-5
設定する	
Windows98/Windows95	3-2
Macintosh	3-23
電話機	3-39
切断	3-22, 3-38
設定手順	1-3 ~ 1-6
設定のしかた	1-3

タ～ト

ターミナルアダプタ	1-7
ダイヤルアップネットワークモニター	3-21
ダイヤルインサービス ...	1-8, 3-9, 3-42, 3-46
ダイヤルイン番号	1-9, 3-9, 3-26
ダイヤル方式	2-6
縦置スタンド	1-12, 2-2, 2-4
単3アルカリ乾電池	1-18, 4-6
ツール	1-3
停電	2-3, 2-5, 2-6, 4-5
添付品	1-12
ディップスイッチ	1-18
データポート	1-5, 1-6 1-16, 2-4, 2-10, 3-6

でかけるボタン	1-14
電源	1-16, 1-17, 2-2, 2-4, 2-11, 2-12
電子メール	1-11
電子メール着信通知	1-13, 1-14
電池	1-14, 1-18, 2-6, 4-5 ~ 4-8
電話機とファクスを呼び分ける ..	1-8 ~ 1-10
電話機の接続	2-2 ~ 2-6
電話番号の登録	3-44, 3-48
電話番号を割り当てる	3-44, 3-46
電話を使う	2-13
同期・非同期	3-16, 3-32

ナ～ノ

ニカド電池	1-18, 4-5 ~ 4-8
ネットスケープナビゲータ	1-11, 3-21, 3-37

ハ～ホ

パスワード	3-20
パソコンの接続	2-2 ~ 2-5, 2-9
発信者通知番号	3-27, 3-41, 3-42
番号設定	3-9, 3-10, 3-26, 3-27, 3-41
日付・時刻の設定	3-17, 3-18, 3-39
ピクトグラム	1-15, 3-22, 3-38
ビッグローブ	1-11, 3-13, 3-14
不揮発性メモリ	3-19, 3-28
ファクスの接続	2-3, 2-5, 2-6
プロバイダ	1-11, 3-13 ~ 3-16 3-20, 3-21, 3-29, 3-30, 3-36
ブラウザ	1-10, 3-20, 3-22, 3-36 ~ 3-38
ブランチ接続	2-6
ホームページ	1-11, 3-21, 3-37
保証書	1-12

マ～モ

モジュラタイプ	1-7
メール	1-11
モデム	2-3, 2-5, 2-6, 3-16
モデムの設定	3-31, 3-32

ユーザ登録	1-11, 3-21, 3-37
ユーザー名	1-11, 3-20
ユーティリティ	1-3, 3-16 ~ 3-19 3-23, 3-24
呼び分け	1-4 ~ 1-6, 1-8 ~ 1-10, 3-44

ヤ～ヨ

ラ～ロ

落雷	2-3, 2-4
らくらくウィザード	1-3, 1-11 3-2, 3-18, 3-20
らくらくテレホン設定	1-3, 3-39
らくらくユーティリティ	1-3, 3-18 3-19, 3-23, 3-24
ローゼット	2-8

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。

この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠していません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等はおこなっていません。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載、無断複写することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 本装置の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粹経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- (5) Atermには初の停電機能を持たせるなど、災害時に於いてのライフラインと直結した通信手段の確保を意図した設計がされていますが、せつかくの機能も不適切な扱いや不測の事態(例えば落雷や漏電など)により故障してしまつては能力を発揮できません。添付の各マニュアルをよくお読みになり記載されている注意事項を必ずお守りください。

Windows, Windows NT は米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

Netscape Navigator は米国 Netscape Communications Corporation の登録商標です。

その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

AmLINK3 © AMD

© NEC Corporation 1998

日本電気株式会社の許可なく複製、改変などをおこなうことはできません。

C&C for Human Potential



この取扱説明書は、エコマーク認定の再生紙を使用しています。